取扱説明書

マトリックス スイッチャ
MSW－6432A NTSC

概要

MSW-6432A は 64 入力･32 出力のマトリックス スイッチャです。
各カメラ映像入力を任意の映像出力に割り当て効率の良い監視をするための映像切換え機です。
遠隔地からイーサネットを経由して入出力の割り当ておよび各種設定ができます。

特長

特長	参照
●映像信号専用のマトリックス スイッチャです。	
●1～32 の出力に 1～64 の入力を任意に割り当てることができます。	➢22 ページ 出力:入力 割り当ての概要と例
●前面部ボタンで出力←入力の割り当てができます。	➢24 ページ 前面部ボタンで…割り当てる
●出力←入力の割り当ては 64 パターン プリセットできます。	➢26 ページ 2.OUTPUT PATTERN
●1 つの出力に 1～64 の入力を自動切換え表示することができます。	➢26 ページ 1.OUTPUT SET
●自動切換え表示は 64 パターンをプリセットできます。	➢27 ページ 3.SEQUENCE PATTERN
●メニューで操作・設定ができます。	➢25 ページ メニュー設定
●専用ソフト(Windows 用)で操作・設定・入出力の状態確認等ができます。	➢33 ページ 専用ソフトの準備
●タイトルは、JIS 第一,第二水準＋拡張文字の 7,324 文字より選択できます。(JIS X0208-1990)	➢40 ページ 6.タイトル(T.S)
●外字の作成・登録・挿入ができます。	➢43 ページ 15.外字登録
●タイトルの文字サイズは、22×22/30×30/46×46 ドットから選択できます。	➢30 ページ 5-4.DISPLAY SIZE
●各カメラ映像入力 1～64 に最長 28 文字のタイトルを設定できます。(22×22 ドットの場合)	➢40 ページ 6.タイトル(T.S)
●内蔵フォントはゴシック体,文字色は白で黒の縁取りです。	
●日付･時刻を画面に表示できます。	➢27 ページ 4.TIME SIGNAL
●RS-232C や RS-485 による操作が可能です。	➢7 ページ システムの種類
●イーサネットによる操作が可能です。	➢7 ページ システムの種類
●不正操作を防止するパスワードによるロック機能を備えています。	➢25 ページ ■パスワードによるロック
●EIA/JIS の 19 インチ ラック マウントが可能です。(取付金具は別売品)	➢47 ページ ラック マウント方法

○ マトリックス スイッチャ MSW-6432A をお買い上げいただき、ありがとうございます。
○ ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
○ お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

目次

目次

安全上のご注意　かならずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

■絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

●本機のケース・裏パネル等をはずさない！
内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。
- 改造などは絶対におこなわないでください。
- 内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

●本機を濡らさない！
火災・感電の原因となります。
- 雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
- 風呂・シャワー室などの水場では使用しないでください。
- 本機の上に水などの入った容器を置かないでください。
- 万一水などが中に入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！
万一異物が入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。
そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない！
感電の原因となることがあります。

●電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない！
ほこりによりショートや発熱が起こって火災の原因となります。湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！
コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。

●雷が鳴り出したら使わない！
電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

●アース線を接地する
感電を避けるためにかならず接地をしてください。アース線は絶対にガス管に接続しないでください。
爆発や火災の原因となります。

安全上のご注意　かならずお守りください

警告

●**電源電圧 100V±10%以外の電圧で使用しない！**
火災･感電の原因となります。

●**煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！**
そのままで使用すると火災･感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●**本機が故障した場合、落としたりケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！**
そのままで使用すると火災･感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。

●**移動させる場合は、かならず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！**
コードが傷つき火災･感電の原因となることがあります。

●**長期間使用しないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜く！**
火災の原因となることがあります。

注意

●**本機の上にものを置かない！**
バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。
また、重みによって故障の原因となることがあります。

●**コード類は正しく配線する！**
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを本機の下敷きにしないでください。
- 足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

●**設置場所にご注意ください！**
- 不安定な場所に置かないでください。
- 磁気を発生する機器の近くに置かないでください。
- 直射日光のあたるところや熱器具の近くに置かないでください。
- 冷凍倉庫や外気にさらされるなど、温度変化の激しいところには置かないでください。
- 振動や衝撃の加わるところには置かないでください。
- 腐食性ガスのあたるところには置かないでください。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたるところには置かないでください。

●**本機の通風孔をふさがない！**
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
壁から 10cm 以上離して設置してください。また、次のような使いかたはしないでください。
- 本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。
- 風通しの悪い狭い所に押し込む。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

■定期点検とお手入れについて

※お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源コードのプラグを抜いてからおこなってください。

注意

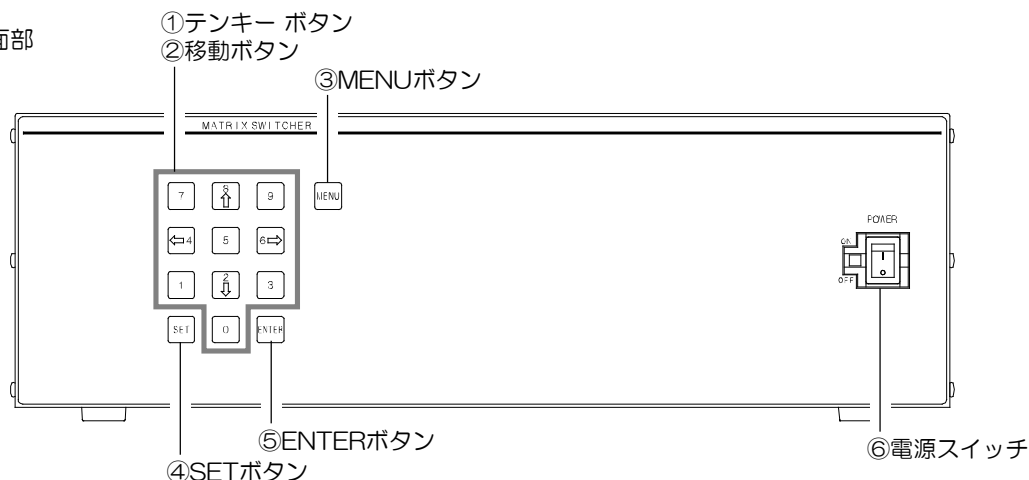
●電源コードが傷んだ(芯線の露出･断線など)場合は交換を依頼する！
そのままで使用すると火災･感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。

●内部の掃除について
内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。
機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災･故障の原因となることがあります。

●電源プラグの掃除をしてください
電源プラグを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因となることがあります。
年に一度くらいは、プラグを抜いてほこりを取ってください。

●カバーは乾いた布で拭いてください
汚れがひどいときは、うすめの中性洗剤液を浸しよく絞った布で拭き取ってから、から拭きしてください。
このとき、液が内部に入らないように注意してください。
ベンジン、シンナー、アルコールなどの液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使用しないでください。

各部の名称とはたらき

■前面部

①テンキー ボタン 0～9

・出力と入力の割り当てを手動設定するときに、出力と入力の数字入力に使用します。

例：出力 2 に入力 5 を割り当てる場合
0+2+SET+0+5+ENTER

・パスワードの入力に使用します。

ボタンを押すたびに「ピッ」という音が鳴ります。

②移動ボタン(⇦,⇨,⇧,⇩)

メニュー表示中に、設定値の変更、点滅の移動などに使用します。

③MENU ボタン

メニューを表示/非表示します。(映像出力 1 のみ)

④SET ボタン

①の例で示したとおり、出力と入力の割り当てを手動設定するときに使用します。

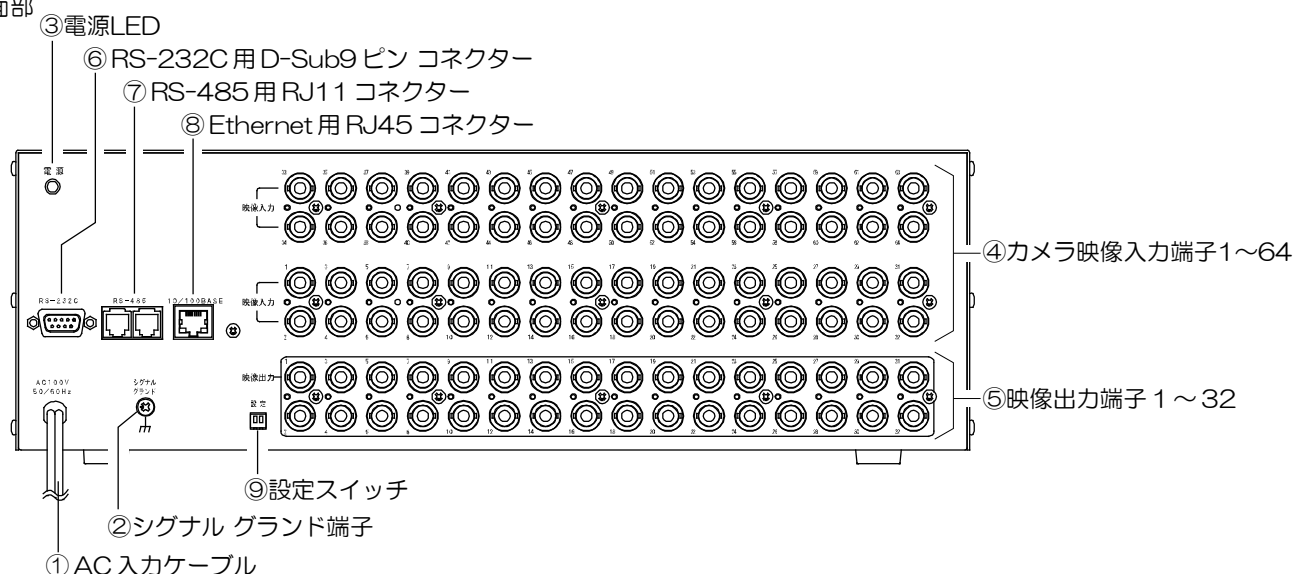
⑤ENTER ボタン

・メニュー表示中は、設定値の決定、点滅位置の決定に使用します。

・①の例で示したとおり、出力と入力の割り当てを手動設定するときに使用します。

⑥電源スイッチ

本機の電源を ON/OFF します。ON にすると LED が点灯します。

■背面部

①AC 入力ケーブル

AC100V 50/60Hz のコンセントに接続してください。

②シグナル グランド端子

信号用接地端子です。機器間相互のグランドを取るために接続してください。

※他のネジに付け替えないでください。

③電源 LED

電源を ON にすると LED が点灯します。

④カメラ映像入力端子 1～64

TV カメラの映像信号(64 入力)を入力してください。(75Ω終端)

⑤映像出力端子 1～32

TV モニター等の映像入力端子へ接続してください。(75Ω終端)メニューは端子 1 から出力した映像にのみ表示します。出力端子 1 からはかならず映像を出力してください。

⑥RS-232C 用 D-Sub9 ピン･オス コネクター

本体と専用ソフトで送受信します。
(クロスケーブル使用,インチネジ#4-40UNC)

⑦Ethernet 用 RJ45 コネクター

遠隔操作をするとき信号を入出力します。

⑧RS-485 用 RJ11 コネクター

リモート制御などに使用します。(Half Duplex)
(ループ スルー)

⑨設定スイッチ

メンテナンス用です。使用しないでください。

システムの種類

本機はシリアル通信(RS-232C,RS-485)またはインターネット通信(Ethernet)により、コマンド送信または専用ソフトによる操作ができます。
使用目的に合わせてシステムを構築していただくことにより、一層効果的にご活用いただくことができます。

補足(クライアントとサーバーについて)
●**クライアント**は、ソケット接続が確立するまでサーバーに対し要求を続けます。
●**サーバー**は、クライアントからのソケット接続要求をリスン状態で待機します。

①シリアル通信(RS-232C)

MSW-6432A と設定用パソコンが近距離にあり、MSW-6432A が 1 台の場合に適しています。
8 ページ～

②シリアル通信(RS-485)

設定用パソコンと複数台の MSW-6432A でルータ等使用せずに送受信する場合に適しています。RS-485 カスケード接続は 31 号機まで、最長 1.2ｋｍまで対応できます。10 ページ～

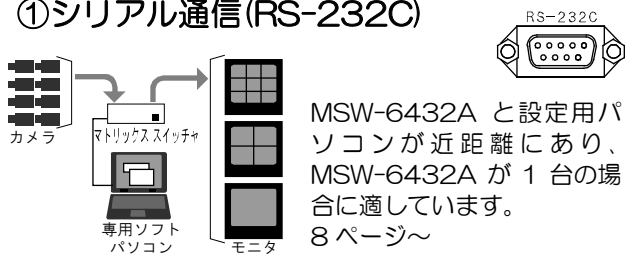
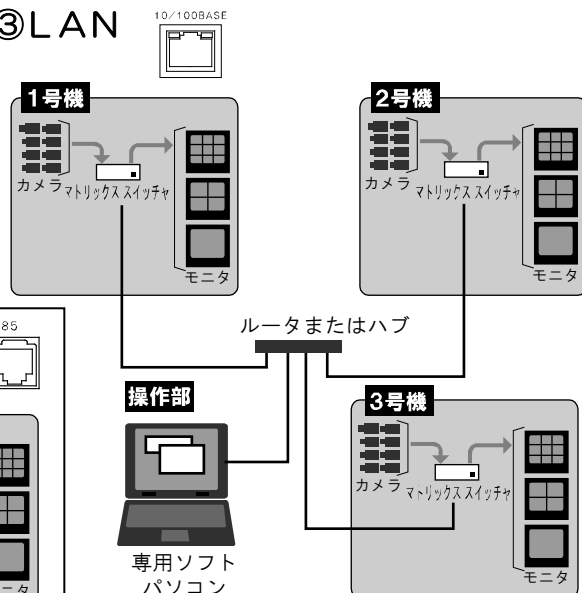
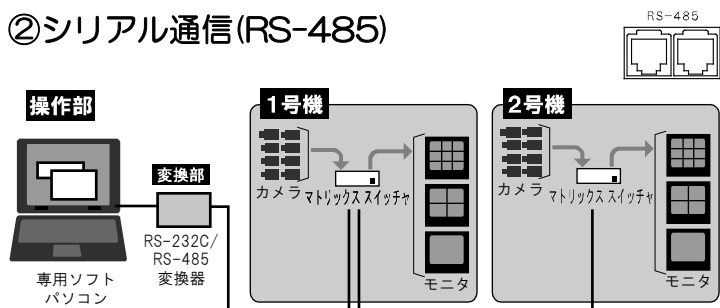
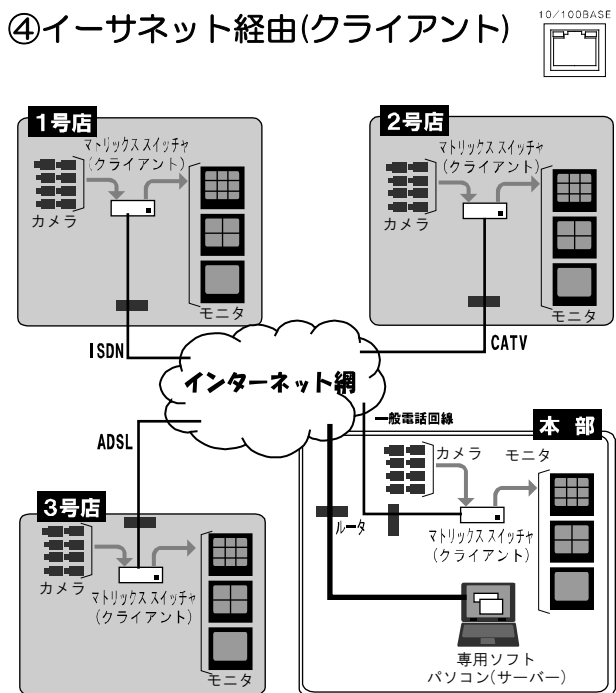
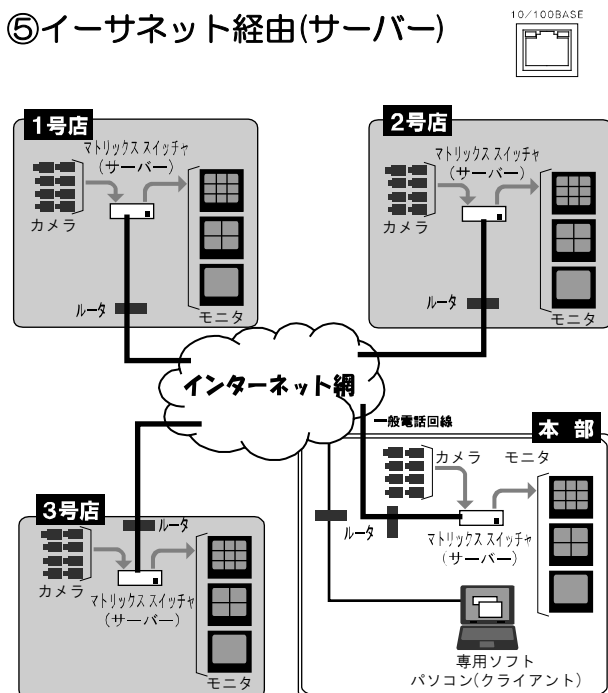
③ＬＡＮ

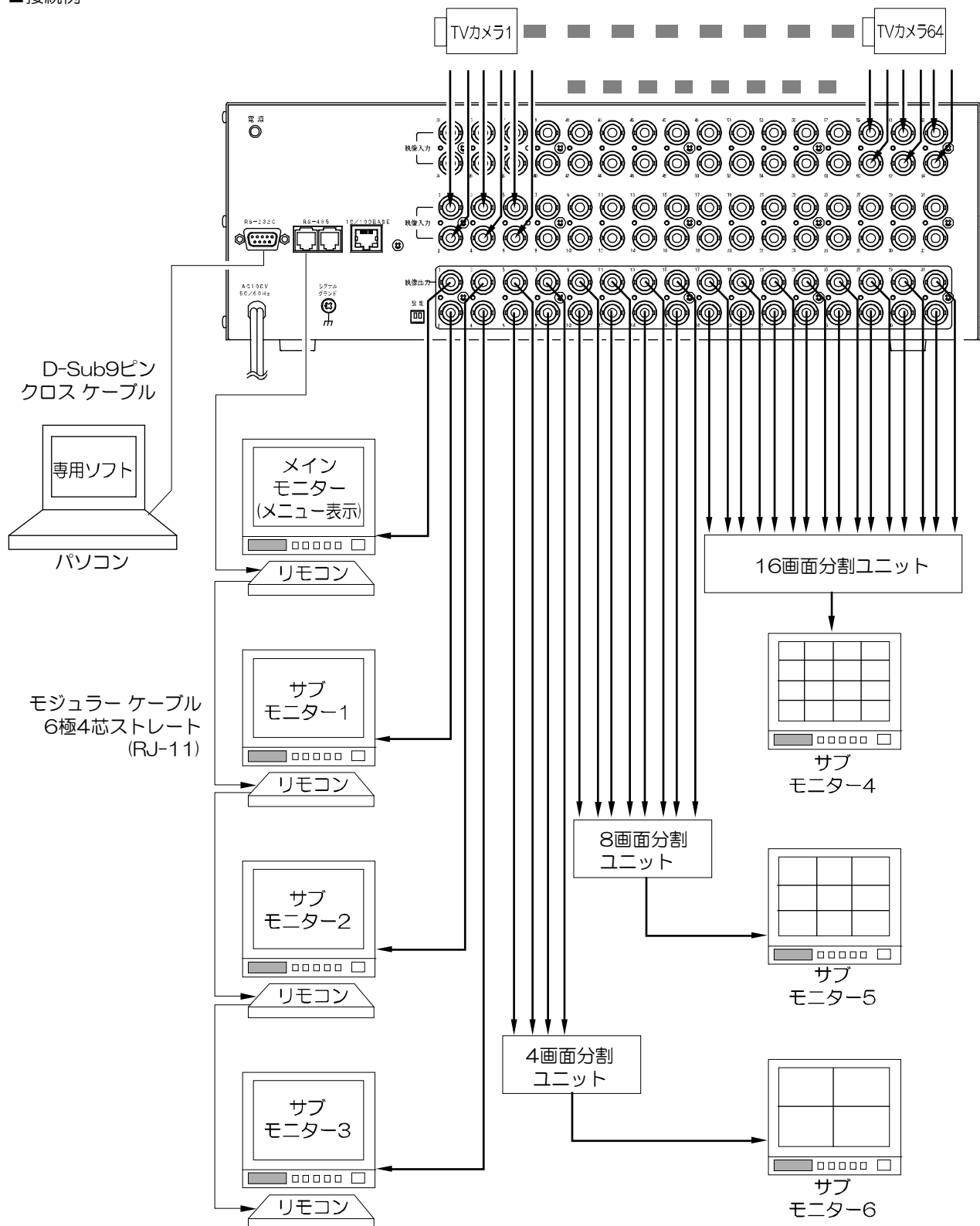
複数台の MSW-6432A と設定用パソコンが LAN 内にある場合に適しています。
12 ページ～

④イーサネット経由(クライアント)

イーサネットを経由して設定用パソコンと
MSW-6432A で情報を送受信する場合の例です。
MSW-6432A をクライアント、パソコンをサーバーとする使用方法です。
15 ページ～

⑤イーサネット経由(サーバー)

イーサネットを経由して設定用パソコンと
MSW-6432A で情報を送受信する場合の例です。
MSW-6432A をサーバー、パソコンをクライアントとする使用方法です。
18 ページ～

シリアル通信(RS-232C)の準備

■接続例

注意　●電源は全ての接続が終わってからつないでください。
●電源をつなぐ前にかならずコンセントの電圧を確認してください。
●本機の各映像、および出力端子には電圧を加えないでください。
●RS-485 通信,RS-232C 通信,イーサネット通信は同時に使用できません。
●パソコンと RS-232C コネクターの接続にはクロス ケーブルを使用してください。
●シグナル グランド端子は、備え付けのネジを使用し、他のネジに付け替えないでください。

シリアル通信(RS-232C)の準備

■メニューの設定

MSW-6432A の日時を確認します。

21 ページ **日時の調整** を参照し、MSW-6432A の日時を調整してください。

注意 ●メニューは映像出力端子 1 のみ表示されます。映像出力端子 1 はかならず映像を表示させてください。

専用ソフトを使う場合は、次項の**■専用ソフトの設定**をおこなってください。

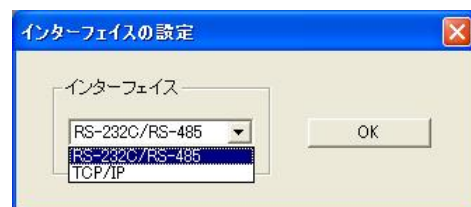
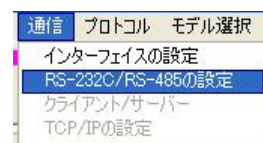
専用ソフトを使用しない場合は、22 ページ **出力:入力 割り当ての概要と例**、または 24 ページ **基本動作**を参照し操作してください。

■専用ソフトの設定

①MSW3232A.exe をタウンロードし、パソコンに保存してください。
(33 ページ **専用ソフトの準備** 参照)

②MSW3232A.exe をダブルクリックして起動させます。

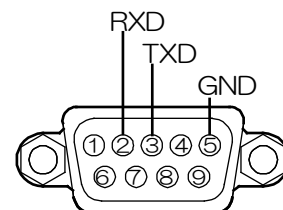
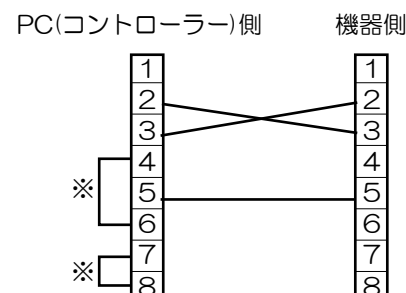
③メニューバー“通信”のプルダウン リストから“インターフェイスの設定”を選択してクリックします。

④インターフェイスの設定ダイアログで“RS-232C/RS-485”を選択して、OK ボタンをクリックします。

⑤メニューバー“通信”のプルダウン リストから“RS-232C/RS-485 の設定”を選択してクリックします。

⑥ RS-232C/RS-485 の設定ダイアログで“Control”に“RS-232C”を選択して OK ボタンをクリックします。(“COM Port”は必要に応じて変更してください。)

以上で準備は完了です。37 ページ~ **専用ソフトの操作方法**にしたがい、操作してください。

■RS-232C ピン アサイン(参考)

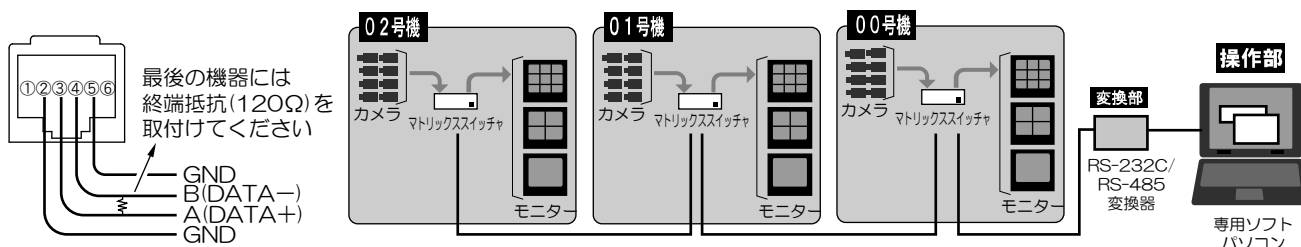
本機の RS-232C は三線式(RXD,TXD,GND)で、フロー制御をしていません。

RS-232C/RS-485/LAN コマンド表は、アルテックス WEB サイトよりダウンロードできますのでご利用ください。
http://www.n-artics.co.jp/d_load/d_load.htm

※フロー制御が必要な場合は PC(コントローラー)側の④ー⑥,⑦ー⑧を短絡してください。

シリアル通信(RS-485)の準備

■接続例

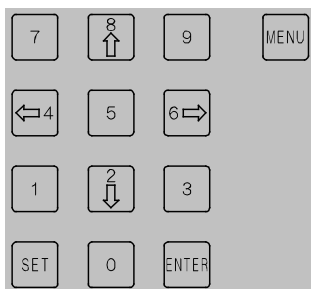
注意　●電源をつなぐ前にかならずコンセントの電圧を確認してください。
●各映像入出力端子には電圧を加えないでください。
●RS-485 通信を使用時は RS-232C 通信,イーサネット通信は使用できません。
●カスケード接続内に本機以外の機器があるときは一斉送信ができません。
●一斉送信時はアンサーバックがありません。

本機の RS-485 は半二重通信(Half Duplex)方式です。

接続前にあらかじめ各機の号機(00～31)を設定してください。(次項　参照)
31 号機までカスケード接続できます。モジュラー ケーブル(ストレート)は全長 1.2km まで通信可能です。
下図のように終端抵抗を取付けてください。
RS-485 ドライバーより号機を指定して信号を送信します。
号機を“FF”として送信するとブロードキャスト(一斉送信)となります。

■スレーブ アドレス(号機)の設定
各 MSW-6432A ごとにメニューから号機を設定します。

注意　●メニューは映像出力端子 1 のみ表示されます。映像出力端子 1 はかならず映像を表示させてください。

①映像出力１の画面を見ながら、前面部の MENU ボタンを押します。

②MAIN MENU(右図)が表示されたら、⇧,⇩ボタンでカーソル(▷)を“ＳＥＲＩＡＬ　ＩＮＴＥＲＦＡＣＥ”に合わせ、ENTER ボタンを押します。

```
  MAIN  MENU    ver*.**

 OUTPUT SET--------FREE
 OUTPUT PATTERN
 SEQUENCE PATTERN
 TIME SIGNAL
 TITLE
 PASSWORD
 OUTPUT ENABLE
▷SERIAL INTERFACE
 ETHERNET
```

③SERIAL INTERFACE 画面(右図)が表示されたら、⇧,⇩ボタンでカーソル(▷)を“ＳＬＡＶＥ　ＡＤＤＲＥＳＳ”に合わせ、ENTER ボタンを押します。

```
  SERIAL  INTERFACE

▷SLAVE ADDRESS-----00
 DATA RATE---------9600
 PARITY------------EVEN
 STOP BIT----------1
 DATA LENGTH-------8
 ESCAPE
```

④設定値が点滅するので、⇧,⇩ボタンで号機(00～31)を設定し、ENTER ボタンで決定します。

⑤MENU ボタンを押してメニューを終了します。

※他の MSW-6432A も同様に①～⑤の手順で号機を設定してください。

※21 ページ **日時の調整** を参照し、各 MSW-6432A の日時を調整してください。

シリアル通信(RS-485)の準備

■専用ソフトの設定

①MSW3232A.exe をパソコンに保存してください。
(33 ページ **専用ソフトの準備** 参照)

②MSW3232A.exe をダブルクリックして起動させます。

③メニューバー"通信"のプルダウン リストから"インターフェイスの設定"を選択してクリックします。

④インターフェイスの設定ダイアログで"RS-232C/RS-485"を選択して、OK ボタンをクリックします。

⑤メニューバー"通信"のプルダウン リストから"RS-232C/RS-485 の設定"を選択してクリックします。

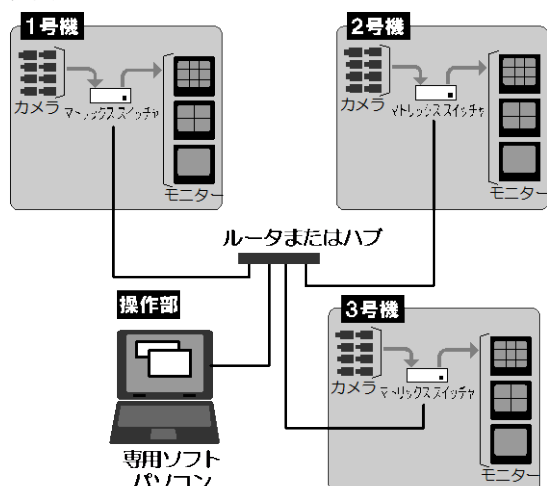
⑥RS-232C/RS-485 の設定ダイアログで"Control"には"RS-485"を選択して OK ボタンをクリックします。("COM Port"は必要に応じて変更してください。)
この操作により各設定画面の"Slave address"の項目が有効になります。

RS-232C/RS485の設定
COM Port
COM1
Control
RS-485
RS-232C
RS-485
OK

以上で準備は完了です。37 ページ **専用ソフトの操作方法**にしたがい、操作してください。
ただし、設定する都度、"Slave address"を指定してください。

LANの準備

■接続例

●概要

◎IP ADDR：各MSW-6432Aに割り当てられたローカル(プライベート)IPアドレスを設定します。
◎GATEWAY：このLANの共通のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。
◎ACTIVE：MSW-6432A本体がクライアントなら通信先のローカル(プライベート)IPアドレスを設定します。MSW-6432A本体がサーバーなら設定の必要はありません。
◎PORT NUMBER ：このLAN共通の通信ポート番号を任意で決めて設定します。
◎CONNECTION TRY：MSW-6432A本体がクライアントならON、MSW-6432A本体がサーバーならOFFにします。（下図の例はサーバー）

※カメラとモニターの接続例の詳細は８ページを参照してください。

●詳細

ＥＴＨＥＲＮＥＴ

ＩＰ　ＡＤＤＲ－１９２．１６８．００１．００３
ＧＡＴＥＷＡＹ－１９２．１６８．００１．０２０
ＡＣＴＩＶＥ－－０００．０００．０００．０００
ＳＵＢＮＥＴ　ＭＡＳＫ－－－－－－Ｃ
２５５．２５５．２５５．０００
ＰＯＲＴ　ＮＵＭＢＥＲ－－－－－－０９００４
ＣＯＮＮＥＣＴＩＯＮ　ＴＲＹ－－－ＯＦＦ
ＭＡＩＮＴＥＮＡＮＣＥ
ＥＳＣＡＰＥ

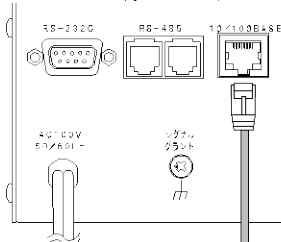
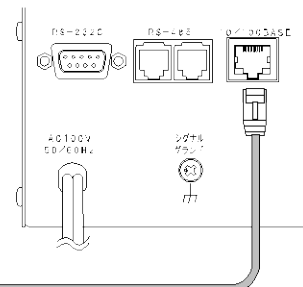
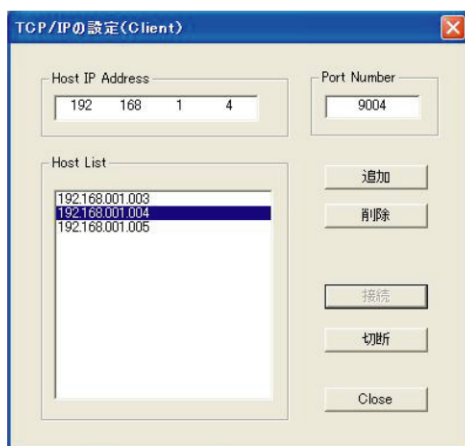
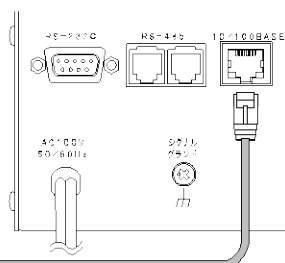
ＥＴＨＥＲＮＥＴ

ＩＰ　ＡＤＤＲ－１９２．１６８．００１．００４
ＧＡＴＥＷＡＹ－１９２．１６８．００１．０２０
ＡＣＴＩＶＥ－－０００．０００．０００．０００
ＳＵＢＮＥＴ　ＭＡＳＫ－－－－－－Ｃ
２５５．２５５．２５５．０００
ＰＯＲＴ　ＮＵＭＢＥＲ－－－－－－０９００４
ＣＯＮＮＥＣＴＩＯＮ　ＴＲＹ－－－ＯＦＦ
ＭＡＩＮＴＥＮＡＮＣＥ
ＥＳＣＡＰＥ

TCP/IPの設定(Client)

Host IP Address: 192 168 1 4
Port Number: 9004

Host List
192.168.001.003
192.168.001.004
192.168.001.005

追加
削除
接続
切断
Close

ＥＴＨＥＲＮＥＴ

ＩＰ　ＡＤＤＲ－１９２．１６８．００１．００５
ＧＡＴＥＷＡＹ－１９２．１６８．００１．０２０
ＡＣＴＩＶＥ－－０００．０００．０００．０００
ＳＵＢＮＥＴ　ＭＡＳＫ－－－－－－Ｃ
２５５．２５５．２５５．０００
ＰＯＲＴ　ＮＵＭＢＥＲ－－－－－－０９００４
ＣＯＮＮＥＣＴＩＯＮ　ＴＲＹ－－－ＯＦＦ
ＭＡＩＮＴＥＮＡＮＣＥ
ＥＳＣＡＰＥ

LANの準備

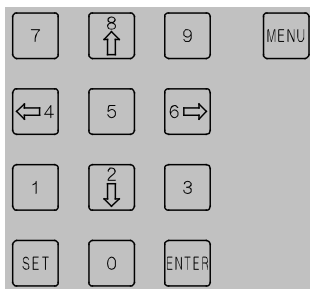
■メニューの設定
各 MSW-6432A ごとにメニューから Ethernet を設定します。

注意　●メニューは映像出力端子 1 のみ表示されます。映像出力端子 1 はかならず映像を表示させてください。

①映像出力１の画面を見ながら、前面部のMENUボタンを押します。

②MAIN MENU(右図)が表示されたら、⇧,⇩ボタンでカーソル(▷)を“ＥＴＨＥＲＮＥＴ”に合わせ、ENTER ボタンを押します。

```
  MAIN MENU    ver*. **

 OUTPUT SET--------FREE
 OUTPUT PATTERN
 SEQUENCE PATTERN
 TIME SIGNAL
 TITLE
 PASSWORD
 OUTPUT ENABLE
 SERIAL INTERFACE
▷ETHERNET
```

③ETHERNET 画面(右図)が表示されたら、各値を設定します。
アドレスを設定するときは、⇦,⇨ボタンで点滅を移動させ、⇧,⇩ボタンで値を変更させます。
(０～９のテンキー ボタンでは入力できません)

●IP ADDR.....各 MSW-6432A に割り当てられたローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。
●GATEWAY....このLAN のデフォルトゲートウェイ アドレスを設定します。
●ACTIVE.....MSW-6432A 本体がサーバーなら設定の必要はありません。MSW-6432A 本体がクライアントなら通信先のパソコンの IP アドレスを設定します。
●PORT NUMBER.....この LAN 共通の通信ポート番号を任意で決めて設定します。
●CONNECTION TRY....MSW-6432A 本体がサーバーならOFF、MSW-6432A 本体がクライアントならON にします。(右図の例はサーバー)

```
  ETHERNET

▷IP ADDR-192. 168. 001. 003
 GATEWAY-192. 168. 001. 020
 ACTIVE--000. 000. 000. 000
 SUBNET MASK-------C
         255. 255. 255. 000
 PORT NUMBER-------09004
 CONNECTION TRY---OFF
 MAINTENANCE
 ESCAPE
```

④MENU ボタンを押してメニューを終了します。

※他の MSW-6432A も同様に①～③の手順で Ethernet を設定してください。

※21 ページ **日時の調整** を参照し、各 MSW-6432A の日時を調整してください。

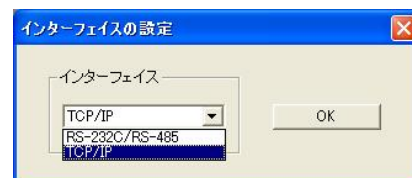
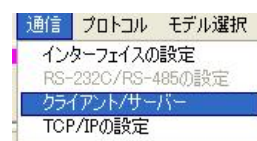
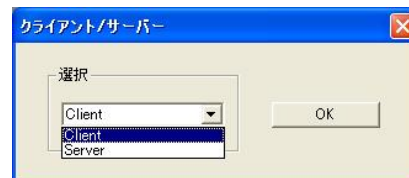
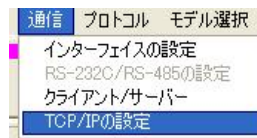
LANの準備

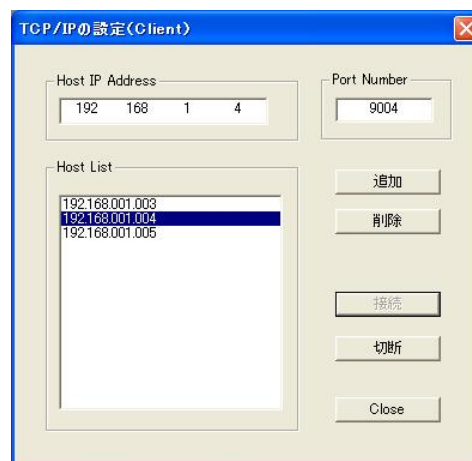
■専用ソフトの設定

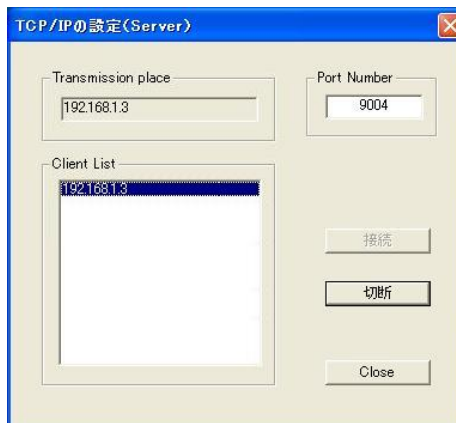
①MSW3232A.exeをパソコンに保存してください。
（33ページ **専用ソフトの準備** 参照）

②MSW3232A.exeをダブルクリックして起動させせます。

③メニューバー“通信”のプルダウン リストから“インターフェイスの設定”を選択してクリックします。

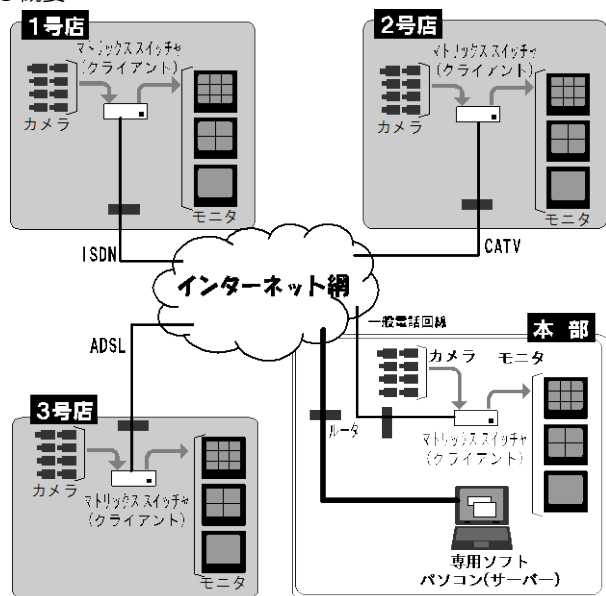
④インターフェイスの設定ダイアログで“TCP/IP”を選択して、OKボタンをクリックします。

⑤メニューバー“通信”のプルダウン リストから“クライアント/サーバー”を選択してクリックします。

⑥クライアント/サーバーの設定ダイアログでパソコンの使用方法を選択します。MSW-6432A本体がサーバーなら“Client”、MSW-6432A本体がクライアントなら“Server”を選択してください。

⑦メニューバー“通信”のプルダウン リストから“TCP/IPの設定”を選択してクリックします。

⑧TCP/IPの設定ダイアログで“Port Number”にこのLAN共通の通信ポート番号を入力します。

※⑥でClientを選択したとき
“Host IP Address”に各MSW-6432AのIPアドレスを入力して追加ボタンをクリックします。“Host List”に追加したアドレス表示されます。
“Host List”から接続したいMSW-6432AのIPアドレスをダブルクリックして“Host IP Address”に入力し、“接続”ボタンをクリックします。

※⑥でServerを選択したとき
“接続”ボタンをクリックするとインターネットに接続し、“Client List”に各MSW-6432AのIPアドレスが表示されます。Client Listの中から接続したいMSW-6432AのIPアドレスをダブルクリックして“Transmission place”にIPアドレスが入力されます。

⑨他のMSW-6432Aと接続するときは、“切断”ボタンをクリックしてから、⑧の設定をします。

以上で準備は完了です。37ページ **専用ソフトの操作方法**にしたがい、操作してください。

イーサネット経由(クライアント)の準備

■接続例

●概要

◎専用ソフトのパソコンはサーバーとして使います。
◎IP ADDR：各 MSW-6432A に割り当てられたローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。
◎GATEWAY：各 MSW-6432A の属する LAN のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。
◎ACTIVE：通信先のパソコン(サーバー)の IP アドレスを設定します。
◎PORT NUMBER：共通の通信ポート番号を任意で決めて設定します。
◎CONNECTION TRY：各 MSW-6432A をクライアントとして使用するので、ON にします。

※カメラとモニターの接続例の詳細は８ページを参照してください。

●詳細

1 号店 マトリックス スイッチャ (クライアント)

```
ETHERNET

IP ADDR-192.168.001.001
GATEWAY-192.168.001.020
ACTIVE--192.168.001.089
SUBNET MASK------C
        255.255.255.000
PORT NUMBER------09004
CONNECTION TRY---ON
MAINTENANCE
ESCAPE
```

2 号店 マトリックス スイッチャ (クライアント)

```
ETHERNET

IP ADDR-192.168.001.002
GATEWAY-192.168.001.020
ACTIVE--192.168.001.089
SUBNET MASK------C
        255.255.255.000
PORT NUMBER------09004
CONNECTION TRY---ON
MAINTENANCE
ESCAPE
```

3 号店 マトリックス スイッチャ (クライアント)

```
ETHERNET

IP ADDR-192.168.001.003
GATEWAY-192.168.001.020
ACTIVE  192.168.001.089
SUBNET MASK------C
        255.255.255.000
PORT NUMBER------09004
CONNECTION TRY---ON
MAINTENANCE
ESCAPE
```

ISDN TA
インターネット網
CATV ケーブルモデム
ADSL ADSL モデム

本部
専用ソフト パソコン (サーバー)
IPアドレス (192.168.001.089)
ルータ

TCP/IPの設定(Server)
Transmission place: 192.168.1.3
Port Number: 9004
Client List: 192.168.1.3
接続
切断
Close

イーサネット経由(クライアント)の準備

■メニューの設定

各 MSW-6432A ごとにメニューから Ethernet を設定します。

注意　●メニューは映像出力端子 1 のみ表示されます。映像出力端子 1 はかならず映像を表示させてください。

①映像出力１の画面を見ながら、前面部のMENUボタンを押します。

②MAIN MENU(右図)が表示されたら、⇧,⇩ボタンでカーソル(▷)を“ＥＴＨＥＲＮＥＴ”に合わせ、ENTER ボタンを押します。

```
  MAIN MENU   ver*. **

 OUTPUT SET--------FREE
 OUTPUT PATTERN
 SEQUENCE PATTERN
 TIME SIGNAL
 TITLE
 PASSWORD
 OUTPUT ENABLE
 SERIAL INTERFACE
▷ETHERNET
```

③ETHERNET 画面(右図)が表示されたら、各値を設定します。
アドレスを設定するときは、⇦,⇨ボタンで点滅を移動させ、⇧,⇩ボタンで値を変更させます。
(0～9 のテンキー ボタンでは入力できません)

```
  ETHERNET

▷IP ADDR-192. 168. 001. 003
 GATEWAY-192. 168. 001. 020
 ACTIVE--192. 168. 001. 089
 SUBNET MASK-------C
         255. 255. 255. 000
 PORT NUMBER------09004
 CONNECTION TRY---ON
 MAINTENANCE
 ESCAPE
```

- ●IP ADDR.....各 MSW-6432A に割り当てられたローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。
- ●GATEWAY....各 MSW-6432A の属する LAN のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。
- ●ACTIVE....通信先のパソコン(サーバー)の IP アドレスを設定します。
- ●PORT NUMBER.....共通の通信ポート番号を任意で決めて設定します。
- ●CONNECTION TRY....各 MSW-6432A をクライアントとして使用するので、ON にします。

④MENU ボタンを押してメニューを終了します。

※他の MSW-6432A も同様に①～③の手順で Ethernet を設定してください。

※21 ページ **日時の調整** を参照し、各 MSW-6432A の日時を調整してください。

イーサネット経由(クライアント)の準備

■専用ソフトの設定(パソコン＝サーバー)

①MSW3232A.exe をパソコンに保存してください。
(33 ページ **専用ソフトの準備** 参照)

②MSW3232A.exe をダブルクリックして起動させます。

③メニューバー“通信”のプルダウン リストから“インターフェイスの設定”を選択してクリックします。

④インターフェイスの設定ダイアログで“TCP/IP”を選択して、OK ボタンをクリックします。

⑤メニューバー“通信”のプルダウン リストから“クライアント/サーバー”を選択してクリックします。

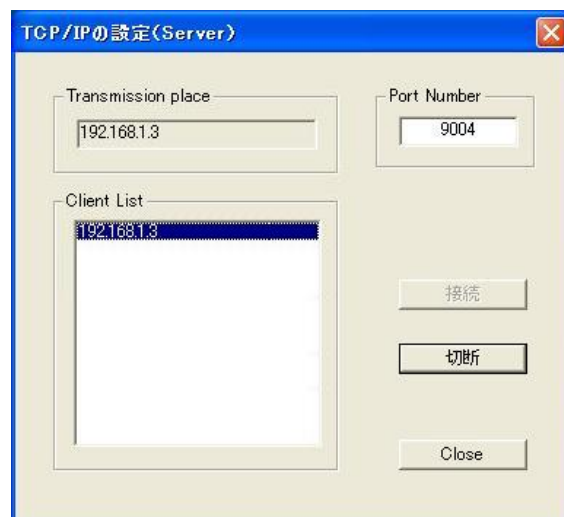
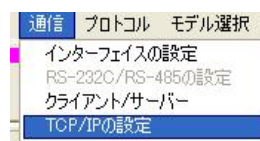
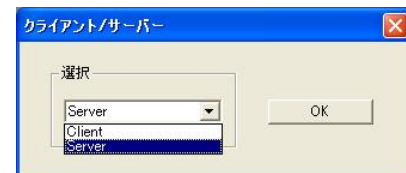
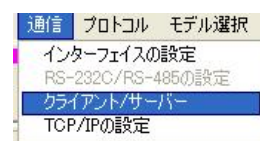
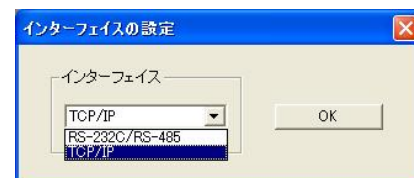
⑥クライアント/サーバーの設定ダイアログで“Server”を選択します。

⑦メニューバー“通信”のプルダウン リストから“TCP/IP の設定”を選択してクリックします。

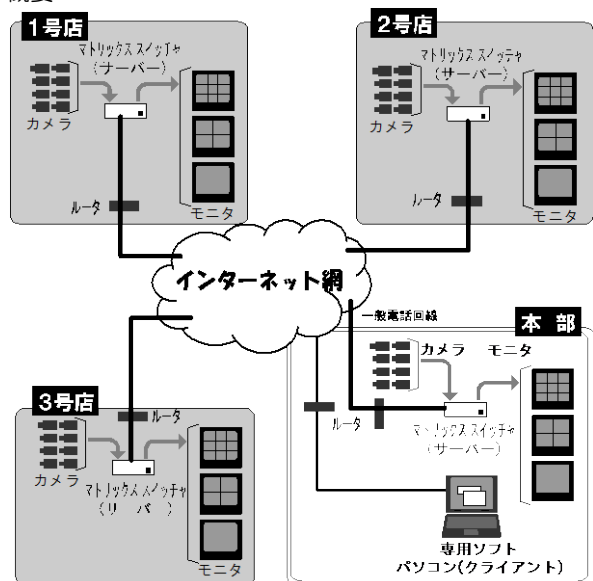
⑧TCP/IP の設定ダイアログで“Port Number”に共通の通信ポート番号を入力します。

⑨“接続”ボタンをクリックするとインターネットに接続し、“Client List”に各 MSW-6432A の IP アドレスが表示されます。
Client List の中から接続したい MSW-6432A の IP アドレスをダブルクリックして“Transmission place”に IP アドレスが入力されます。

⑩他の MSW-6432A と接続するときは、“切断”ボタンをクリックしてから、⑨の設定をします。

以上で準備は完了です。37 ページ **専用ソフトの操作方法**にしたがい、操作してください。

イーサネット経由(サーバー)の準備

■接続例

●概要

◎専用ソフトのパソコンはクライアントとして使います。
◎IP ADDR：各 MSW-6432A に割り当てられたローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。
◎GATEWAY：設定の必要はありません。
◎ACTIVE：設定の必要はありません。
◎PORT NUMBER：共通の通信ポート番号を任意で決めて設定します。
◎CONNECTION TRY：各 MSW-6432A をサーバーとして使用するので、OFF にします。

※カメラとモニターの接続例の詳細は８ページを参照してください。

●詳細

```
ETHERNET

IP ADDR-192.168.001.003
GATEWAY-000.000.000.000
ACTIVE--000.000.000.000
SUBNET MASK------C
         255.255.255.000
PORT NUMBER------09004
CONNECTION TRY---OFF
MAINTENANCE
ESCAPE
```

```
ETHERNET

IP ADDR 192.168.001.004
GATEWAY 000.000.000.000
ACTIVE  000.000.000.000
SUBNET MASK       C
         255.255.255.000
PORT NUMBER------09004
CONNECTION TRY---OFF
MAINTENANCE
ESCAPE
```

1号店
マトリックス スイッチャ
(サーバー)

IPアドレス
(192.168.001.003)

2号店
マトリックス スイッチャ
(サーバー)

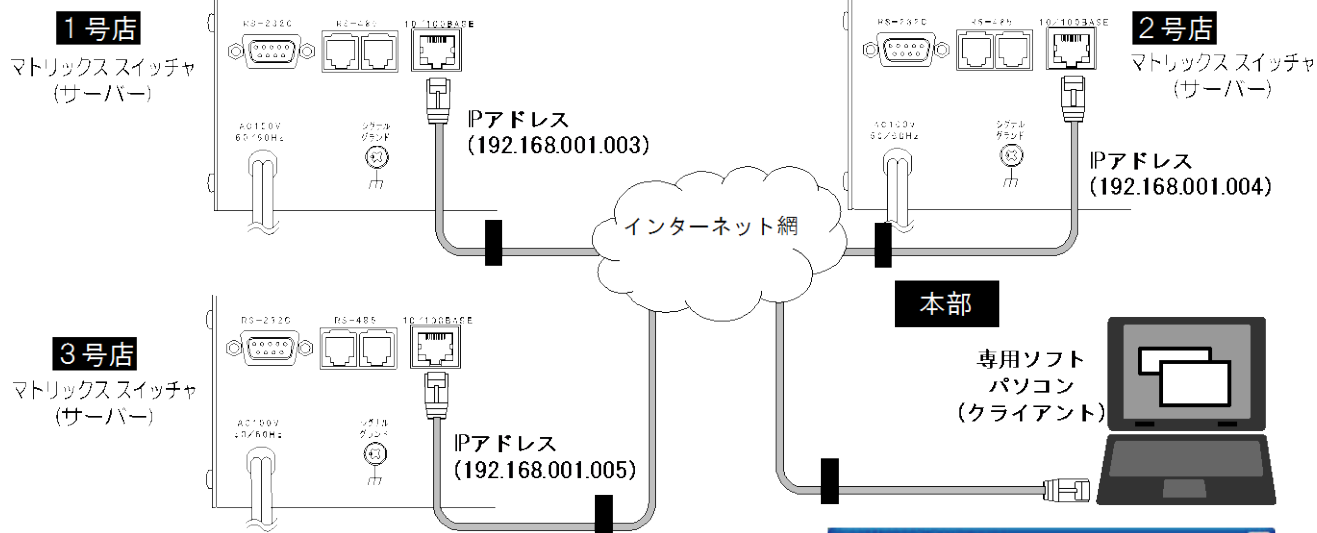
IPアドレス
(192.168.001.004)

インターネット網

本部

3号店
マトリックス スイッチャ
(サーバー)

IPアドレス
(192.168.001.005)

専用ソフト
パソコン
(クライアント)

```
ETHERNET

IP ADDR-192.168.001.005
GATEWAY-000.000.000.000
ACTIVE--000.000.000.000
SUBNET MASK------C
         255.255.255.000
PORT NUMBER------09004
CONNECTION TRY---OFF
MAINTENANCE
ESCAPE
```

TCP/IPの設定(Client)

Host IP Address: 192 168 1 4
Port Number: 9004

Host List
192.168.001.003
192.168.001.004
192.168.001.005

追加
削除
接続
切断
Close

イーサネット経由(サーバー)の準備

■メニューの設定
各 MSW-6432A ごとにメニューから Ethernet を設定します。

注意　●メニューは映像出力端子 1 のみ表示されます。映像出力端子 1 はかならず映像を表示させてください。

①映像出力１の画面を見ながら、前面部のMENUボタンを押します。

②MAIN MENU(右図)が表示されたら、⇧,⇩ボタンでカーソル(▷)を“ＥＴＨＥＲＮＥＴ”に合わせ、ENTER ボタンを押します。

```
  ＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ　　ｖｅｒ＊．＊＊

 ＯＵＴＰＵＴ　ＳＥＴ－－－－－－－－ＦＲＥＥ
 ＯＵＴＰＵＴ　ＰＡＴＴＥＲＮ
 ＳＥＱＵＥＮＣＥ　ＰＡＴＴＥＲＮ
 ＴＩＭＥ　ＳＩＧＮＡＬ
 ＴＩＴＬＥ
 ＰＡＳＳＷＯＲＤ
 ＯＵＴＰＵＴ　ＥＮＡＢＬＥ
 ＳＥＲＩＡＬ　ＩＮＴＥＲＦＡＣＥ
▷ＥＴＨＥＲＮＥＴ
```

③ETHERNET 画面(右図)が表示されたら、各値を設定します。
アドレスを設定するときは、⇦,⇨ボタンで点滅を移動させ、⇧,⇩ボタンで値を変更させます。
(０～９のテンキー ボタンでは入力できません)

●IP ADDR……各 MSW-6432A に割り当てられたローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。
●GATEWAY…設定の必要はありません。
●ACTIVE……設定の必要はありません。
●PORT NUMBER…共通の通信ポート番号を任意で決めて設定します。
●CONNECTION TRY…各 MSW-6432A をサーバーとして使用するので、OFF にします。

```
  ＥＴＨＥＲＮＥＴ

▷ＩＰ　ＡＤＤＲ－１９２．１６８．００１．００３
 ＧＡＴＥＷＡＹ－０００．０００．０００．０００
 ＡＣＴＩＶＥ－－０００．０００．０００．０００
 ＳＵＢＮＥＴ　ＭＡＳＫ－－－－－－－Ｃ
         ２５５．２５５．２５５．０００
 ＰＯＲＴ　ＮＵＭＢＥＲ－－－－－－－０９００４
 ＣＯＮＮＥＣＴＩＯＮ　ＴＲＹ－－－ＯＦＦ
 ＭＡＩＮＴＥＮＡＮＣＥ
 ＥＳＣＡＰＥ
```

④MENU ボタンを押してメニューを終了します。

※他の MSW-6432A も同様に①～③の手順で Ethernet を設定してください。

※21 ページ **日時の調整** を参照し、各 MSW-6432A の日時を調整してください。

イーサネット経由(サーバー)の準備

■専用ソフトの設定(パソコン=クライアント)

①MSW3232A.exe をパソコンに保存してください。
(33 ページ **専用ソフトの準備** 参照)

②MSW3232A.exe をダブルクリックして起動させます。

③メニューバー“通信”のプルダウン リストから“インターフェイスの設定”を選択してクリックします。

④インターフェイスの設定ダイアログで“TCP/IP”を選択して、OK ボタンをクリックします。

⑤メニューバー“通信”のプルダウン リストから“クライアント/サーバー”を選択してクリックします。

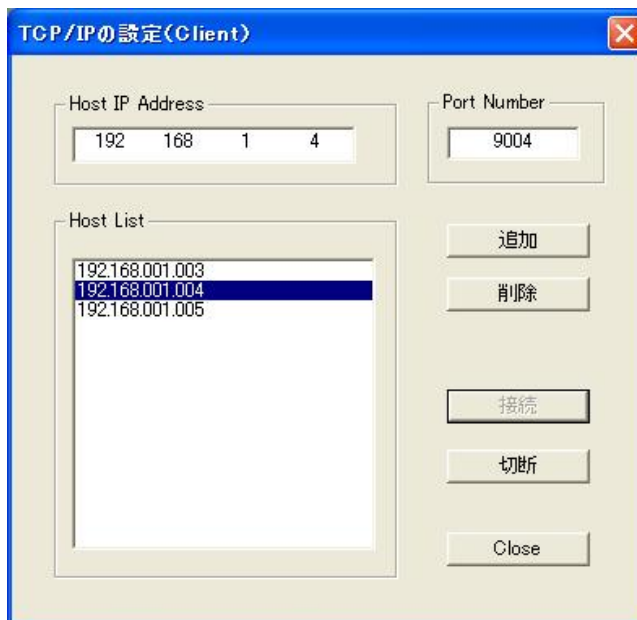
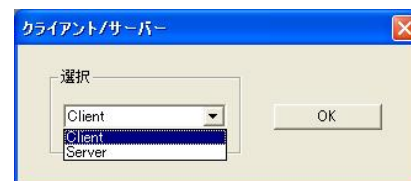
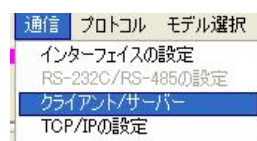
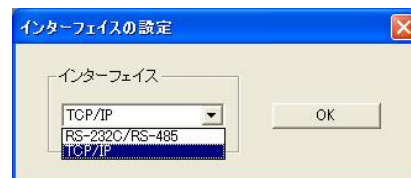
⑥クライアント/サーバーの設定ダイアログで“Client”を選択します。

⑦メニューバー“通信”のプルダウン リストから“TCP/IP の設定”を選択してクリックします。

⑧TCP/IP の設定ダイアログで“Port Number”に共通の通信ポート番号を入力します。

⑨“Host IP Address”に各 MSW-6432A の IP アドレスを入力して追加ボタンをクリックします。“Host List”に追加したアドレス表示されます。
“Host List”から接続したい MSW-6432A の IP アドレスをダブルクリックして“Host IP Address”に入力し、“接続”ボタンをクリックします。

⑩他の MSW-6432A と接続するときは、“切断”ボタンをクリックしてから、⑨の設定をします。

以上で準備は完了です。37 ページ **専用ソフトの操作方法**にしたがい、操作してください。

日時の調整

※メニューは映像出力端子１のみ表示されます。映像出力端子１はかならず映像を表示させてください。

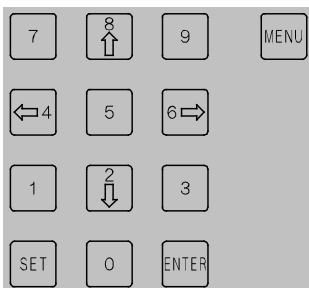
※画面上部の日時の表示を確認してください。(右図)
現在の日時と合っていれば、そのままお使いになれます。

```
2014. 07. 18  16:49:23



CH12
```

日時の調整が必要な場合は、次の手順で調整してください。

①映像出力１の画面を見ながら、前面部の MENU ボタンを押します。

②MAIN MENU(右図)が表示されたら、⇧,⇩ボタンでカーソル(▷)を“ＴＩＭＥ ＳＩＧＮＡＬ”に合わせ、ENTER ボタンを押します。

```
 MAIN MENU   ver*. **

OUTPUT SET--------FREE
OUTPUT PATTERN
SEQUENCE PATTERN
▷TIME SIGNAL
TITLE
PASSWORD
OUTPUT ENABLE
SERIAL INTERFACE
ETHERNET
```

③TIME SIGNAL 画面(右図)が表示されたら、⇧,⇩ボタンでカーソル(▷)を“ＣＬＯＣＫ ＡＤＪＵＳＴ”に合わせ、ENTER ボタンを押します。
日時の左端の値から点滅するので、⇦,⇨ボタンで点滅を移動させ、⇧,⇩ボタンで値を変更し、ENTER ボタンを押すと日時が決定します。
(０～９のテンキー ボタンでは入力できません)

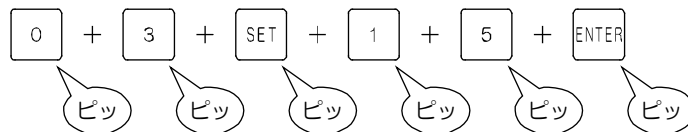
```
 TIME SIGNAL

30SEC. ADJUST
▷CLOCK ADJUST
   2014. 07. 24  14:55:36
INPUT CHANNEL
OUTPUT CHANNEL
DISPLAY RANGE----YMDHMS
   2014. 07. 24  14:55:36
DISPLAY SIZE-----NORMAL
ESCAPE
```

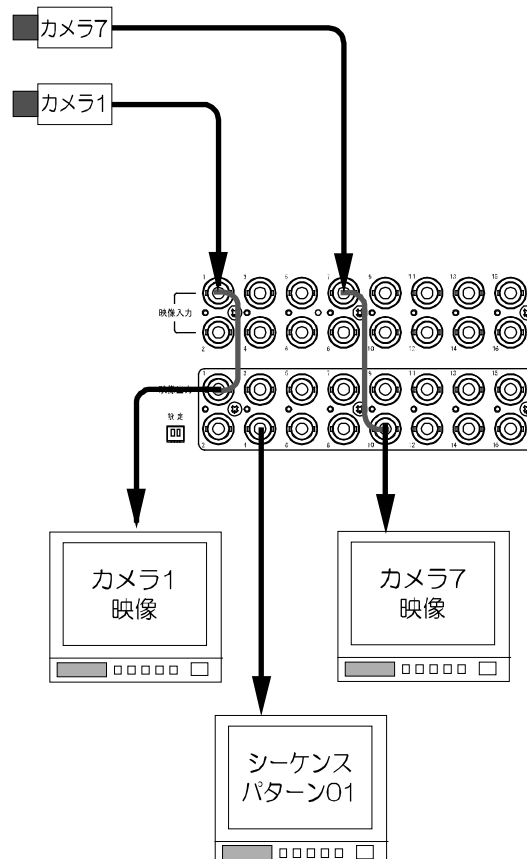
④MENU ボタンを押すとメニューが終了します。再度、画面上部の日時の表示を確認してください。

出力:入力 割り当ての概要と例

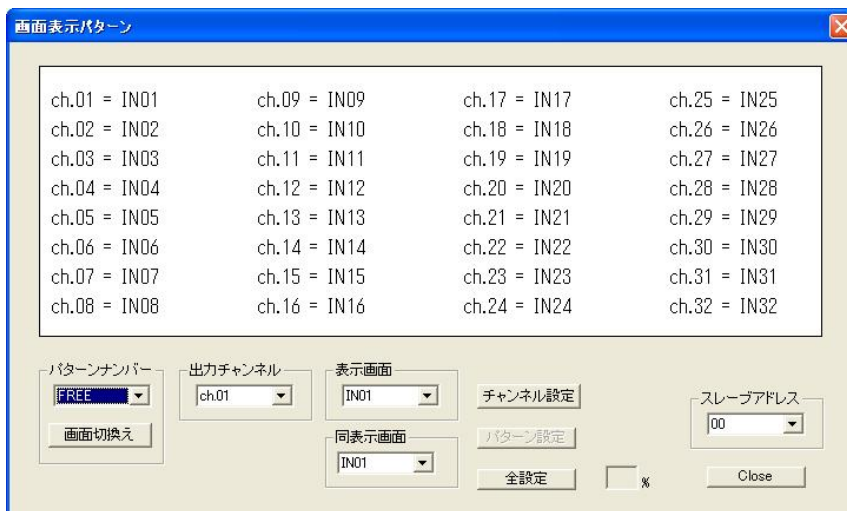
■前面部ボタンで割り当てる
(詳細は 24 ページ **■前面部ボタンで出力に入力を割り当てる** をご参照ください)

(例)
右図の操作をすると出力 3 のモニターに入力 15 の映像が表示されます。
ピッと鳴らないときはもう一度押してください。
無効なキーを押すと鳴りません。

■本体メニューで割り当てる
(詳細は 26 ページ 1-1.OUTPUT SET FREE をご参照ください)

OUTPUT SET を FREE にすると、続いて割り当てる画面が表示されます。
そこで映像出力 1～32 のそれぞれに、IN01～IN64, SP01～SP64 を割り当てます。

```
  OUTPUT  SET   FREE
 CH.                CH.
▷01  IN01          09  IN09
 02  IN02          10  IN07
 03  IN03          11  IN11
 04  SP01          12  IN12
 05  IN05          13  IN13
 06  IN06          14  IN14
 07  IN32          15  IN15
 08  IN08          16  IN16
 ESCAPE             ESCAPE
```

■専用ソフトで割り当てる
(詳細は 37 ページ 1.画面表示パターン(O.P)をご参照ください)

前面部ボタン操作およびメニュー操作と同等の操作ができます。

右図で“パターンナンバー”を“FREE”にして“**画面切換え**”ボタンをクリックします。
“出力チャンネル”1～32 のそれぞれに、“表示画面”で IN01～IN64, SP01～SP64 を割り当て、“チャンネル設定”ボタンをクリックします。

出力:入力 割り当ての概要と例

■プリセットする

出力:入力の組合せのパターンを作成しておくことができます。

パターンの作成は本体メニューまたは専用ソフトのいずれも使用できます。

プリセット手順は次の①～③の順でおこなってください。

①シーケンス パターン(SP01～SP64)を作る

入力 1～64 それぞれの表示時間のパターンを作ります。

(詳細は 27 ページ 3.SEQUENCE PATTERN をご参照ください)

SP01 作成の例：入力 1 を 3 秒表示→入力 2 を 5 秒表示→入力 3 をスキップ→
入力 4 を 30 秒表示→入力 5～15 を 3 秒ずつ表示→
入力 16～64 をスキップ→入力 1 に戻る…

②アウトプット パターン(OP01～OP64)を作る

映像出力 1～32 のそれぞれに、IN01～IN64 または SP01～SP64 を割り当てます。

IN01～IN64 は入力 01～入力 64

(詳細は 26 ページ 2.OUTPUT PATTERN をご参照ください)

OP01 作成の例： 出力 1 に SP01 を表示,
出力 2 に入力 1(IN01)表示,
出力 3 に入力 3(IN03)表示,
出力 4 に入力 4(IN04)表示,
出力 5 に入力 5(IN05)表示,
出力 6 に入力 6(IN06)表示,
出力 7 に入力 7(IN07)表示,
出力 8 に SP02 を表示,
出力 9 に入力 18(IN18)表示,
出力 10 に入力 19(IN19)表示,
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
出力 31 に SP03 を表示,
出力 32 に SP04 を表示

③アウトプット セットに出力パターンを設定する

(右図)

OP01～OP64 のいずれかを現在の表示にします。

(詳細は 26 ページ 1.OUTPUT SET をご参照ください)

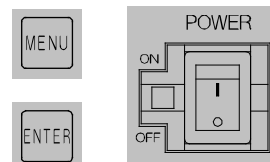
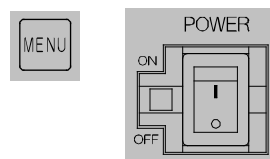
```
  MAIN MENU   ver*.**

▷OUTPUT SET--------OP01
 OUTPUT PATTERN
 SEQUENCE PATTERN
 TIME SIGNAL
 TITLE
 PASSWORD
 OUTPUT ENABLE
 SERIAL INTERFACE
 ETHERNET
```

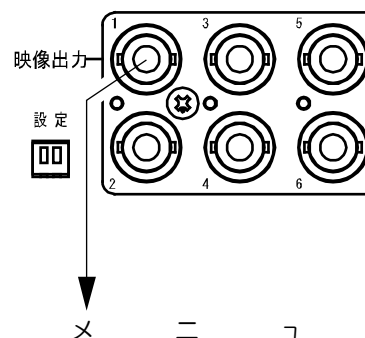
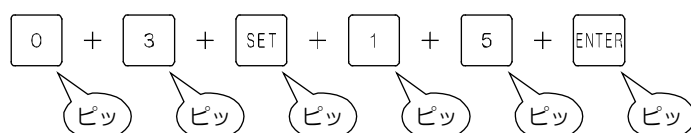
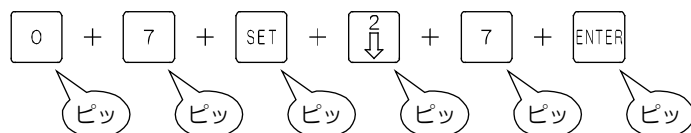
基本動作

操作上のご注意 ── この説明書をよくお読みになり、記載されていない意味のない操作、
および乱暴な操作は絶対におこなわないでください。

■電源 入/切
●各種機器が正しく接続されているか確認してください。
●AC 入力ケーブルをコンセントに接続したあとで、機器前面の電源スイッチを入れてください。
●映像出力端子から映像信号が出力されていることをディスプレーで確認してください。
●電源スイッチを入れると緑色 LED が点灯し、電源スイッチを切ると緑色 LED は消灯します。

■デフォルト セット
●デフォルト セット(全項目)
メニューの各設定値およびタイトルを工場出荷時設定に戻す操作です。
MENU ボタンと ENTER ボタンを同時に押しながら電源スイッチを入れます。
MENU ボタンと ENTER ボタンは**約５秒間押し続けて**ください。

●デフォルト セット(タイトルはそのまま)
メニューの各設定値を工場出荷時設定に戻す操作です。
タイトルは工場出荷時設定に戻りません。
MENU ボタンを押しながら電源スイッチを入れます。
MENU ボタンは**約５秒間押し続けて**ください。

注意 ●メニューを表示させて工場出荷時設定に戻っていることを確認してください。
●工場出荷時設定に戻っていない場合は、電源スイッチを切り、もう一度ボタンを長めに押して
デフォルト セットの操作をしてください。

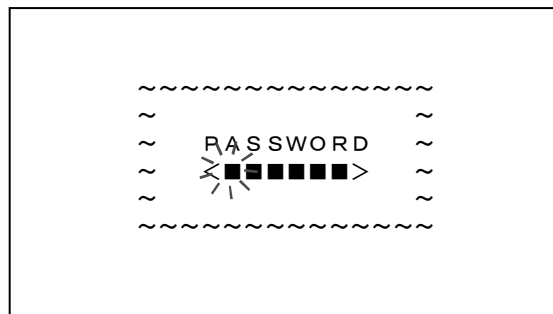
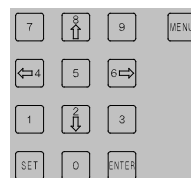
■メニュー,メッセージの表示画面
メニューおよび各種メッセージは、映像出力端子 1 から出力した映像にのみ
表示します。
工場出荷時はカメラ映像入力端子 1 の映像が映像出力端子 1 から出力して
いますので、**かならずカメラ映像入力端子 1 に映像を入力してください。**

注意 ●映像出力端子 1 から映像信号が出力されていない場合は、
メニューも表示されません。

■前面部ボタンで出力に入力を割り当てる
【出力端子番号＋SET＋入力端子番号＋ENTER】の順に押すと設定できます。
(例 1)出力 3 に入力 15 を表示させる場合

(例 2)出力 7 に入力 27 を表示させる場合

注意 ●ピッと鳴らないときはもう一度押してください。無効なキーを押すと鳴りません。

基本動作

■パスワードによるロック
　前面部ボタンでの割り当て操作とメニュー ボタンの操作をパスワードにより
　それぞれロックすることができます。
　(30 ページ 6.PASSWORD 参照)

●パスワードの入力方法
パスワードによるロックが設定されているボタンを押すと、
６ケタのパスワード入力画面が表示されます。

左端の■が点滅していますので、前面部のテンキー
ボタン[０]～[９]を使用して、パスワードを入力します。
パスワードが正しければ“ａｇｒｅｅｍｅｎｔ”が点滅表示され
動作を許可します。
パスワードが間違っていると、“ｄｉｓａｇｒｅｅｍｅｎｔ”が
点滅表示されます。

メニューと専用ソフトの使い分け

メニュー表示中は専用ソフトからの設定はできません。

設定・操作が可能なものと不可のものがありますので、下表でご確認ください。

●メニューのみ可(専用ソフトでは不可)	●専用ソフトのみ可(メニューでは不可)
・RS-485 号機設定 ・シリアル通信時のデータレートなどの設定	・タイトル入力 ・プリセットのファイル保存 ・入出力の状態確認 ・外字登録と挿入

メニュー設定

注意　●メニューは映像出力端子 1のみ表示されます。
　　　　映像出力端子 1 はかならず映像を表示させてください。
　　　●シーケンス パターン(自動切換え)表示中は、メニューを
　　　　表示すると映像出力端子 1 のみ自動切換えが停止します。

■メニューの操作方法

MENU ボタンを押すと、メニューが表示されます。
以下にメニュー全般の操作方法を説明します。

●設定したい項目を選ぶとき
⇦,⇨,⇧,⇩ボタンで設定したい項目にカーソル(▷)を合わせ ENTER ボタンを押すと、次のメニューが表示されるか、設定値が点滅します。

●設定値を変更したいとき
設定値が点滅したら⇧,⇩ボタンで値を変更し、ENTER ボタンを押して決定します。

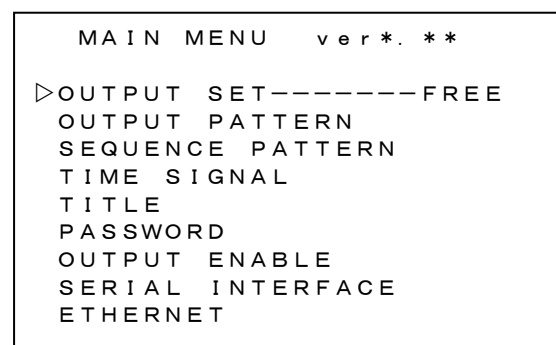
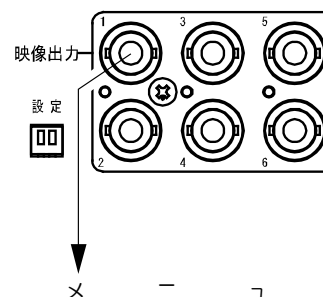
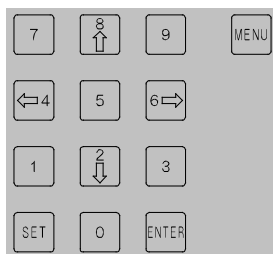
ＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ　　ｖｅｒ＊．＊＊

▷ＯＵＴＰＵＴ　ＳＥＴ－－－－－－－－ＦＲＥＥ
ＯＵＴＰＵＴ　ＰＡＴＴＥＲＮ
ＳＥＱＵＥＮＣＥ　ＰＡＴＴＥＲＮ
ＴＩＭＥ　ＳＩＧＮＡＬ
ＴＩＴＬＥ
ＰＡＳＳＷＯＲＤ
ＯＵＴＰＵＴ　ＥＮＡＢＬＥ
ＳＥＲＩＡＬ　ＩＮＴＥＲＦＡＣＥ
ＥＴＨＥＲＮＥＴ

●点滅を移動したいとき
⇦,⇨,⇧,⇩ボタンで点滅を移動させ、ENTER ボタンを押します。

▷ＣＬＯＣＫ　ＡＤＪＵＳＴ
２０１４－０７．１１　２３：５９：５９

●ひとつ前のメニューに戻りたいとき
設定値が点滅していないときに“ＥＳＣＡＰＥ”にカーソル(▷)を合わせて ENTER ボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

●メニューを終了したいとき
設定値が点滅していないときに MENU ボタンを押すと終了します。

メニュー設定

1.OUTPUT SET
現在の出力状態を設定します。

値	出力状態
FREE	出力：入力のパターンを作成するため、OUTPUT SET FREE 画面に進む
OP01 ～ OP64	OUTPUT PATTERN でプリセットされたアウトプット パターン 01～64 を出力する (2.OUTPUT PATTERN 参照)

工場出荷時設定: FREE

```
  MAIN MENU   ver*.**

▷OUTPUT SET--------FREE
 OUTPUT PATTERN
 SEQUENCE PATTERN
 TIME SIGNAL
 TITLE
 PASSWORD
 OUTPUT ENABLE
 SERIAL INTERFACE
 ETHERNET
```

1-1.OUTPUT SET FREE
1.OUTPUT SET で“ＦＲＥＥ”を設定したときのみ表示される項目です。

CH.01～32 の各映像出力に次の値を設定します。
CH.01～16 と CH.17～32 で画面が分かれています。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、右下の ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

値	出力状態
IN01 ～ IN64	カメラ映像入力 01～64 の固定出力
SP01 ～ SP64	SEQUENCE PATTERN でプリセットされたシーケンス パターン 01～64 の出力 (次ページ 3.SEQUENCE PATTERN 参照)

※工場出荷時設定: 出力 01～32 に対して IN01～IN32

```
  OUTPUT SET FREE
 CH.            CH.
▷01 IN01        09 IN09
 02 IN32        10 IN10
 03 SP01        11 IN11
 04 SP64        12 IN12
 05 IN05        13 IN13
 06 IN06        14 IN14
 07 IN07        15 IN15
 08 IN08        16 IN16
 ESCAPE         ESCAPE
```

注意 ●ここで設定した内容は、“ＯＵＴＰＵＴ ＳＥＴ－－－－－ＦＲＥＥ”のまま電源を切ったときは保存されます。

2.OUTPUT PATTERN
アウトプット パターン(OP01～OP64)をプリセットします。
①No.01～64 のパターン番号を選択します。
No.01～16,17～32,33～48,49～64 で画面が分かれ、全部で 4 画面あります。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、右下の ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

```
  OUTPUT PATTERN
 No.            No.
▷01             09
 02             10
 03             11
 04             12
 05             13
 06             14
 07             15
 08             16
 ESCAPE         ESCAPE
```

②CH.01～32 の各映像出力に次の値を設定します。
CH.01～16 と CH.17～32 で画面が分かれています。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、右下の ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

値	出力状態
IN01 ～ IN64	カメラ映像入力 01～64 の固定出力
SP01 ～ SP64	SEQUENCE PATTERN でプリセットされたシーケンス パターン 01～64 の出力 (次ページ 3.SEQUENCE PATTERN 参照)

工場出荷時設定: 全パターンの出力 01～32 に対して IN01～IN32
カーソル(▷)を ESCAPE に合わせて ENTER ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

```
  OUTPUT PATTERN No.01
 CH.            CH.
▷01 IN01        09 IN09
 02 IN32        10 IN10
 03 SP01        11 IN11
 04 SP64        12 IN12
 05 IN05        13 IN13
 06 IN06        14 IN14
 07 IN07        15 IN15
 08 IN08        16 IN16
 ESCAPE         ESCAPE
```

3.SEQUENCE PATTERN

シーケンス パターン(SP01～SP64)をプリセットします。

①No.01～64 のパターン番号を選択します。

No.01～16,17～32,33～48,49～64 で画面が分かれ、全部で4 画面あります。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、右下の ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

```
  SEQUENCE  PATTERN
 No.            No.
▷01             09
 02             10
 03             11
 04             12
 05             13
 06             14
 07             15
 08             16
 ESCAPE         ESCAPE
```

②CH.01～64 の各入力の表示時間を設定します。

表示時間は 00～99(秒)の間で設定できます。
00 に設定するとその入力はスキップします。

CH.01～16,17～32,33～48,49～64 で画面が分かれ、全部で4 画面あります。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、右下の ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

工場出荷時設定: 全パターン,全入力 03(秒)

```
  SEQUENCE  PATTERN  No. 01
 CH.            CH.
▷01  03SEC.     09  03SEC.
 02  03SEC.     10  03SEC.
 03  03SEC.     11  03SEC.
 04  03SEC.     12  03SEC.
 05  03SEC.     13  03SEC.
 06  03SEC.     14  03SEC.
 07  03SEC.     15  03SEC.
 08  03SEC.     16  03SEC.
 ESCAPE         ESCAPE
```

注意 ●映像信号のないカメラ映像入力はかならず 00SEC.(スキップ)に設定してください。

4.TIME SIGNAL

画面に表示する日時を設定します。

※タイトルが下部の場合は日時は上部へ表示し、
タイトルが上部の場合は日時は下部へ表示します。

```
   2014. 07. 18  16:49:23



          CH12
```

4-1.30SEC.ADJUST

時刻の 30 秒補正をします。
“30SEC. ADJUST”にカーソル(▷)を合わせ、“CLOCK ADJUST”の秒の値が 0～29 秒の間に ENTER ボタンを押すと 00 秒となり、30～59 秒の間に ENTER ボタンを押すと、1 分進んで 00 秒となります。

4-2.CLOCK ADJUST

日付,時刻を設定します。
“CLOCK ADJUST”にカーソル(▷)を合わせ ENTER ボタンを押すと、日時の左端の値から点滅します。
⇦,⇨ボタンで点滅を移動させ、⇧,⇩ボタンで値を変更し、ENTER ボタンを押すと日時が決定します。

```
  TIME  SIGNAL

▷30SEC. ADJUST
 CLOCK  ADJUST
   2014. 07. 24  14:55:36
 INPUT  CHANNEL
 OUTPUT  CHANNEL
 DISPLAY  RANGE----YMDHMS
   2014. 07. 24  14:55:36
 DISPLAY  SIZE-----NORMAL
 ESCAPE
```

4-3.INPUT CHANNEL

カメラ映像入力 1～64 への日時の表示/非表示をそれぞれ設定します。

CH.01～16, 17～32, 33～48, 49～64 で画面が分かれ、全部で４画面あります。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

値	動作
ON	日時を表示する
OFF	日時を表示しない

※工場出荷時設定:全カメラ映像入力 ON

```
  ＴＩＭＥ ＳＩＧＮＡＬ ＩＮＰＵＴ ＣＨ．
 ＣＨ．            ＣＨ．
▷０１ ＯＮ          ０９ ＯＮ
 ０２ ＯＮ          １０ ＯＮ
 ０３ ＯＮ          １１ ＯＮ
 ０４ ＯＮ          １２ ＯＮ
 ０５ ＯＮ          １３ ＯＮ
 ０６ ＯＮ          １４ ＯＮ
 ０７ ＯＮ          １５ ＯＮ
 ０８ ＯＮ          １６ ＯＮ
 ＥＳＣＡＰＥ        ＥＳＣＡＰＥ
```

注意 ●カメラ映像入力が ON になっていても、それを表示する出力が OFF になっていると、日時は表示されません。(4-4.OUTPUT CHANNEL 参照)

4-4.OUTPUT CHANNEL

映像出力 1～32 への日時の表示/非表示をそれぞれ設定します。

CH.01～16, 17～32 で画面が分かれ、全部で２画面あります。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

値	動作
ON	日時を表示する
OFF	日時を表示しない

※工場出荷時設定:全映像出力 ON

```
  ＴＩＭＥ ＳＩＧＮＡＬ ＯＵＴＰＵＴ ＣＨ．
 ＣＨ．            ＣＨ．
▷０１ ＯＮ          ０９ ＯＮ
 ０２ ＯＮ          １０ ＯＮ
 ０３ ＯＮ          １１ ＯＮ
 ０４ ＯＮ          １２ ＯＮ
 ０５ ＯＮ          １３ ＯＮ
 ０６ ＯＮ          １４ ＯＮ
 ０７ ＯＮ          １５ ＯＮ
 ０８ ＯＮ          １６ ＯＮ
 ＥＳＣＡＰＥ        ＥＳＣＡＰＥ
```

注意 ●出力が ON になっていても、表示されているカメラ映像入力が OFF になっていると、日時は表示されません。(4-3.INPUT CHANNEL 参照)

4-5.DISPLAY RANGE

日時の表示範囲を設定します。

値	動作	表示例
YMDHMS	年月日時分秒	２０１４．０７．２４ １４：５５：３６
YMDHM	年月日時分	２０１４．０７．２４ １４：５５
YMD	年月日	２０１４．０７．２４
MDHMS	月日時分秒	０７．２４ １４：５５：３６
MDHM	月日時分	０７．２４ １４：５５
MD	月日	０７．２４
HMS	時分秒	１４：５５：３６
HM	時分	１４：５５

※工場出荷時設定:YMDHMS
※全カメラ映像入力および全映像出力に共通の設定です。

4-6.DISPLAY SIZE

日時の表示文字サイズを設定します。

値	動作
NORMAL	標準文字サイズ
SMALL	小さい文字サイズ

※工場出荷時設定: NORMAL
※全カメラ映像入力および全映像出力に共通の設定です。

```
  ＴＩＭＥ ＳＩＧＮＡＬ

 ３０ＳＥＣ．ＡＤＪＵＳＴ
 ＣＬＯＣＫ ＡＤＪＵＳＴ
   ２０１４．０７．２４ １４：５５：３６
 ＩＮＰＵＴ ＣＨＡＮＮＥＬ
 ＯＵＴＰＵＴ ＣＨＡＮＮＥＬ
 ＤＩＳＰＬＡＹ ＲＡＮＧＥ－－－－ＹＭＤＨＭＳ
   ２０１４．０７．２４ １４：５５：３６
▷ＤＩＳＰＬＡＹ ＳＩＺＥ－－－－－ＮＯＲＭＡＬ
 ＥＳＣＡＰＥ
```

5.TITLE

モニターに表示するタイトルを設定します。

※タイトルの入力は専用の Windows ソフトをご使用ください。
(メニューからは入力できません)
(40 ページ 6.タイトル(T.S) 参照)

※タイトルは、各カメラ映像入力 1～64 に最長 28 文字を設定できます。内蔵フォントはゴシック体,文字色は白で黒の縁取りです。

```
  TITLE

▷POSITION
 INPUT CHANNEL
 OUTPUT CHANNEL
 DISPLAY SIZE
 TOP ADJUST-------08
 BOTTOM ADJUST----08
 ESCAPE
```

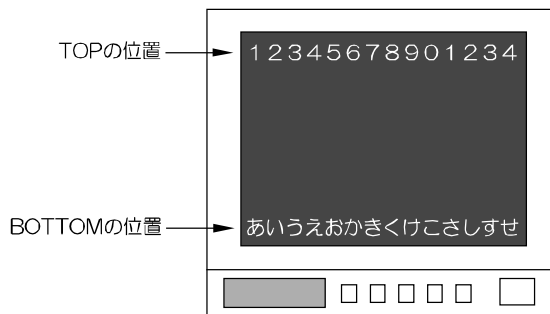
5-1.POSITION

タイトル表示位置をそれぞれ設定します。

CH.01～16, 17～32, 33～48, 49～64 で画面が分かれ、全部で 4 画面あります。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

値	動作
BOTTOM	画面下部に表示する
TOP	画面上部に表示する

※工場出荷時設定:全カメラ映像入力 BOTTOM
※日時はタイトルの反対側に表示します。

```
  TITLE POSITION
 CH.                 CH.
▷01 BOTTOM          09 BOTTOM
 02 BOTTOM          10 BOTTOM
 03 BOTTOM          11 BOTTOM
 04 BOTTOM          12 BOTTOM
 05 BOTTOM          13 BOTTOM
 06 BOTTOM          14 BOTTOM
 07 BOTTOM          15 BOTTOM
 08 BOTTOM          16 BOTTOM
 ESCAPE              ESCAPE
```

5-2.INPUT CHANNEL

カメラ映像入力 1～64 へタイトルの表示/非表示をそれぞれ設定します。

CH.01～16, 17～32, 33～48, 49～64 で画面が分かれ、全部で 4 画面あります。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

値	動作
ON	タイトルを表示する
OFF	タイトルを表示しない

※工場出荷時設定:全カメラ映像入力 ON

```
  TITLE INPUT CHANNEL
 CH.                 CH.
▷01 ON              09 ON
 02 ON              10 ON
 03 ON              11 ON
 04 ON              12 ON
 05 ON              13 ON
 06 ON              14 ON
 07 ON              15 ON
 08 ON              16 ON
 ESCAPE              ESCAPE
```

注意 ●カメラ映像入力が ON になっていても、それを表示する映像出力が OFF になっていると、タイトルは表示されません。(5-3.OUTPUT CHANNEL 参照)

5-3.OUTPUT CHANNEL

映像出力 1～32 へのタイトルの表示/非表示をそれぞれ設定します。

CH.01～16, 17～32 で画面が分かれ、全部で 2 画面あります。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

値	動作
ON	タイトルを表示する
OFF	タイトルを表示しない

※工場出荷時設定:全映像出力 ON

```
  TITLE OUTPUT CHANNEL
 CH.                 CH.
▷01 ON              09 ON
 02 ON              10 ON
 03 ON              11 ON
 04 ON              12 ON
 05 ON              13 ON
 06 ON              14 ON
 07 ON              15 ON
 08 ON              16 ON
 ESCAPE              ESCAPE
```

注意 ●映像出力が ON になっていても、表示されているカメラ映像入力が OFF になっていると、タイトルは表示されません。(5-2.INPUT CHANNEL 参照)

5-4.DISPLAY SIZE

カメラ映像入力 1～64 のタイトルの表示文字サイズをそれぞれ設定します。

CH.01～16, 17～32, 33～48, 49～64 で画面が分かれ、全部で 4 画面あります。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

値	サイズ	表示文字数
LARGE	46×46	14 文字
MEDIUM	30×30	21 文字
SMALL	22×22	28 文字

※工場出荷時設定: MEDIUM

```
   TITLE  DISPLAY  SIZE
 CH.                 CH.
▷01  MEDIUM          09  MEDIUM
 02  MEDIUM          10  MEDIUM
 03  MEDIUM          11  MEDIUM
 04  MEDIUM          12  MEDIUM
 05  MEDIUM          13  MEDIUM
 06  MEDIUM          14  MEDIUM
 07  MEDIUM          15  MEDIUM
 08  MEDIUM          16  MEDIUM
 ESCAPE              ESCAPE
```

5-5.TOP ADJUST

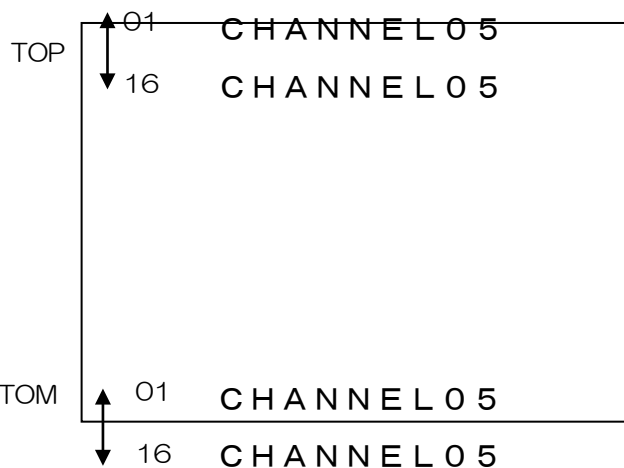
タイトル表示位置 TOP を微調整します。
01～16 の 16 段階に調整できます。

※工場出荷時設定:08
※全カメラ映像入力および全映像出力に共通の設定です。

5-6.BOTTOM ADJUST

タイトル表示位置 BOTTOM を微調整します。
01～16 の 16 段階に調整できます。

※工場出荷時設定:08
※全カメラ映像入力および全映像出力に共通の設定です。

注意 ●日付･時刻の表示位置は微調整できません。

TOP ADJUST および BOTTOM ADJUST のイメージ図

6.PASSWORD

前面部ボタンでの割り当て操作と MENU ボタン操作のロック ON/OFF およびパスワード番号を設定します。
※操作中のパスワードの入力方法は、
25 ページ **■パスワードによるロック** をご参照ください。

6-1.OPERATION

前面部ボタンの操作をパスワードによりロックします。

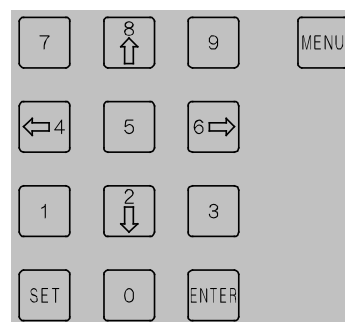
値	動作
ON	操作にパスワードの入力が必要
OFF	操作にパスワードは不要

※工場出荷時設定:OFF

6-2.MENU

MENU ボタンの操作をパスワードによりロックします。

値	動作
ON	操作にパスワードの入力が必要
OFF	操作にパスワードは不要

※工場出荷時設定:OFF

6-3.NUMBER

パスワード番号を設定します。
6ケタの数字で、000000～999999 の範囲で設定できます。
⇦,⇨ボタンで点滅を移動させ、⇧,⇩ボタンで各ケタの値を変更します。
6ケタ目が点滅しているときに ENTER ボタンを押すとパスワードが決定します。
※工場出荷時設定:111111

7.OUTPUT ENABLE
映像出力 2～32 の映像出力の有効/無効を設定します。
※映像出力 1 は常に有効です。
CH.01～16, 17～32 で画面が分かれ、全部で 2 画面あります。
画面の切換えは、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、
ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

値	動作
ON	出力を有効に設定する
OFF	出力を無効に設定する

※工場出荷時設定:全チャンネル ON

```
  OUTPUT  ENABLE
 CH.            CH.
▷01  ON         09  ON
 02  ON         10  ON
 03  ON         11  ON
 04  ON         12  ON
 05  ON         13  ON
 06  ON         14  ON
 07  ON         15  ON
 08  ON         16  ON
 ESCAPE         ESCAPE
```

8.SERIAL INTERFACE
RS-232C および RS-485 通信に関する設定をします。

```
  SERIAL  INTERFACE

▷SLAVE  ADDRESS----00
 DATA  RATE---------9600
 PARITY------------EVEN
 STOP  BIT----------1
 DATA  LENGTH-------8
 ESCAPE
```

8-1.SLAVE ADDRESS
RS-485 使用時の号機設定です。(00～31)
MSW-6432A ごとにメニューを表示して設定します。
※工場出荷時設定:00

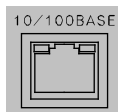
注意 ●RS-232C,RS-485 を同時に使用することは
できません。

8-2.DATA RATE
RS-232C および RS-485 通信時のデータ レートを設定します。
4800/9600/19200/38400(bps)より選択します。
※工場出荷時設定:9600(bps)

8-3.PARITY
RS-232C および RS-485 通信時のパリティを設定します。
ODD/EVEN/NONE より選択します。
※工場出荷時設定:EVEN

8-4.STOP BIT
RS-232C および RS-485 通信時のストップ ビットを設定します。
1 または 2 より選択します。
※工場出荷時設定 1

8-5.DATA LENGTH
RS-232C および RS-485 通信時のデータ長を設定します。
7 または 8 より選択します。
※工場出荷時設定 8

9.ETHERNET
本機のイーサネットに関する設定をします。

注意 ●デフォルト セットすると各設定値は工場出荷時設定にもどりますのでご注意ください。
(24 ページ ■**電源立上げ** 参照)

9-1.IP ADDR
本機のローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。

⇦,⇨ボタンで点滅を左右に移動させ、⇧,⇩ボタンで値を
変更させます。
(0～9 のテンキー ボタンでは入力できません)
※工場出荷時設定 192.168.001.003

```
  ETHERNET

▷IP  ADDR-192. 168. 001. 003
 GATEWAY-192. 168. 001. 002
 ACTIVE--192. 168. 001. 004
 SUBNET  MASK------C
              255. 255. 255. 000
 PORT  NUMBER------09004
 CONNECTION  TRY---OFF
 MAINTENANCE
 ESCAPE
```

9-2.GATEWAY
本機のデフォルト ゲートウェイを設定します。
●LAN で使用する場合には、その LAN で共通のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。
●インターネットを経由してMSW-6432A 本体をクライアントとして使用する場合には、属するLAN のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。
●インターネットを経由して MSW-6432A 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

⇦,⇨ボタンで点滅を左右に移動させ、⇧,⇩ボタンで値を変更させます。
(0～9 のテンキー ボタンでは入力できません)
※工場出荷時設定 192.168.001.002

9-3.ACTIVE
通信先のアドレスを設定します。
●LAN で使用する場合には、通信先のローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。
●インターネットを経由して MSW-6432A 本体をクライアントとして使用する場合には、通信先の IP アドレスを設定します。
●インターネットを経由して MSW-6432A 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

⇦,⇨ボタンで点滅を左右に移動させ、⇧,⇩ボタンで値を変更させます。
(0～9 のテンキー ボタンでは入力できません)
※工場出荷時設定 192.168.001.004

9-4.SUBNET MASK
サブネット マスクを設定します。
ほとんどの場合、工場出荷時のクラス “C” のままご使用いただけます。
※工場出荷時設定:C

9-5.PORT NUMBER
各機と専用ソフト用のパソコンに共通のポート番号を任意で決めて設定します。

⇦,⇨ボタンで点滅を左右に移動させ、⇧,⇩ボタンで値を変更させます。(0～9 のテンキー ボタンでは入力できません)
※工場出荷時設定:09004

```
   ETHERNET

▷IP ADDR－192. 168. 001. 003
 GATEWAY－192. 168. 001. 002
 ACTIVE－－192. 168. 001. 004
 SUBNET MASK－－－－－－C
             255. 255. 255. 000
 PORT NUMBER－－－－－－09004
 CONNECTION TRY－－－OFF
 MAINTENANCE
 ESCAPE
```

9-6.CONNECTION TRY
本機をインターネット経由で使用するときに、クライアント/サーバーを設定します。

値	動作	備考
OFF	サーバーとして使用	クライアントからのソケット接続要求をリスン状態で待機する
ON	クライアントとして使用	サーバーに対しソケット接続が確立するまで要求を続ける

※工場出荷時設定:OFF

9-7.MAINTENANCE
メンテナンス項目です。

9-7-1.KEEP ALIVE
通信障害を回避するため、接続を時間ごとに知らせる機能の有効/無効を設定します。

値	動作
ON	有効(推奨)
OFF	無効

※工場出荷時設定:ON
※通信障害は、電源断,ケーブル外れ,ソケットのハーフ コネクション等によるものです。

```
   ETHERNET MAINTENANCE

▷KEEP ALIVE－－－－－－－－ON
 TIME REGISTER－－－－60MIN.
 MAC    **. **. **. **. **. **
 ESCAPE
```

9-7-2.TIME REGISTER
接続を自動的に解除するタイムアウト値を 1/2/5/10/20/50(分)より設定します。
“ＫＥＥＰ ＡＬＩＶＥ”が“ＯＮ”のときタイムアウト値は有効です。
※工場出荷時設定:60(分)

9-7-3.MAC
この項目は本機の MAC アドレス確認用です。16 進数で表示され本体別に異なります。
設定できません。

専用ソフトの準備

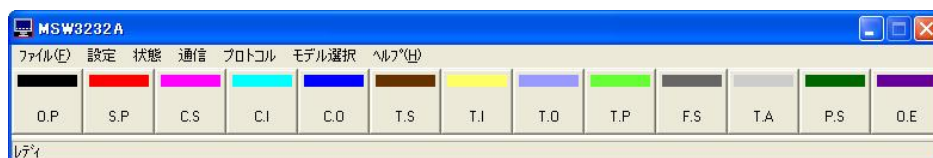
専用ソフトにより、前面部ボタンおよびメニューと同等の操作ができます。
※25 ページ **メニューと専用ソフトの使い分け** もご参照ください。
※パソコンの動作環境は 49 ページ **必要なシステム構成** をご参照ください。

■ダウンロード
http://www.n-artics.co.jp/d_load/softback.htm
上記 URL のダウンロード ページより、MSW-6432A 専用ソフトの ZIP ファイルをパソコンにダウンロードして保存します。ZIP ファイルの中の"MSW3232A.exe"を解凍します。
※専用ソフトはバージョン アップする場合がありますので、バージョンをご確認いただき、常に最新の専用ソフトをダウンロード,保存してください。

※RS-232C/RS-485/LAN コマンド表は、アルテックス WEB サイトよりダウンロードできますのでご利用ください。
http://www.n-artics.co.jp/d_load/d_load.htm

■インストール方法
"MSW3232A.exe"をパソコンのローカル ディスク内に保存します。
デスクトップにショートカット アイコンを作成しておくと便利です。

■起動画面

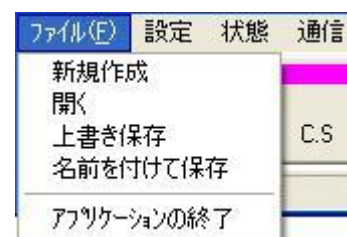
"MSW3232A.exe"を起動させると、右図の基本画面が表示されます。

■ファイル
専用ソフトで設定した各種設定内容は、複数のファイルでパソコンに保存できます。

●新規作成
各項目を出荷時または未入力の状態に戻すことができます。

●開く
保存されているファイルを開いて、ソフトに設定内容を読み込みます。

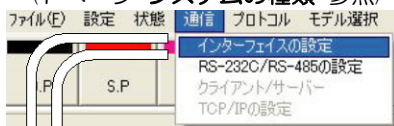
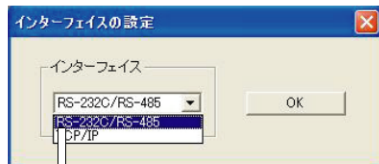
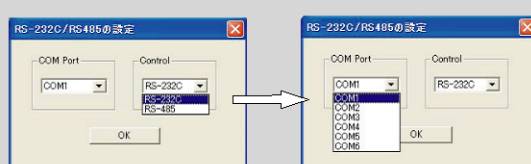
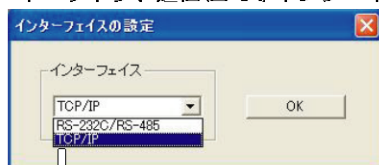
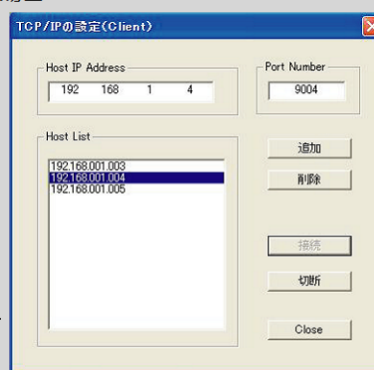
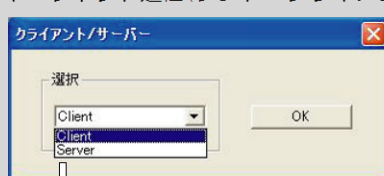
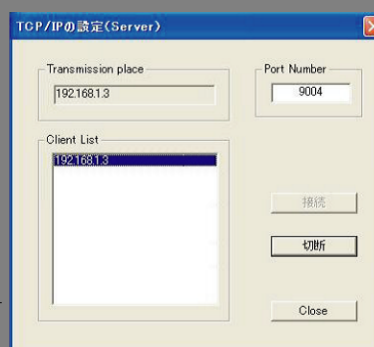
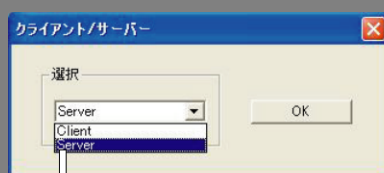
●上書き保存
開いているファイルの内容を変更して上書き保存します。

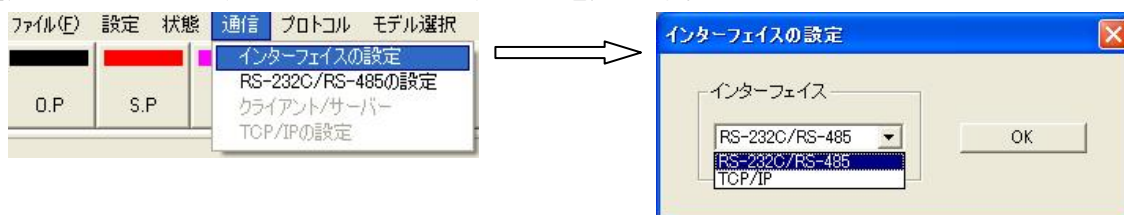
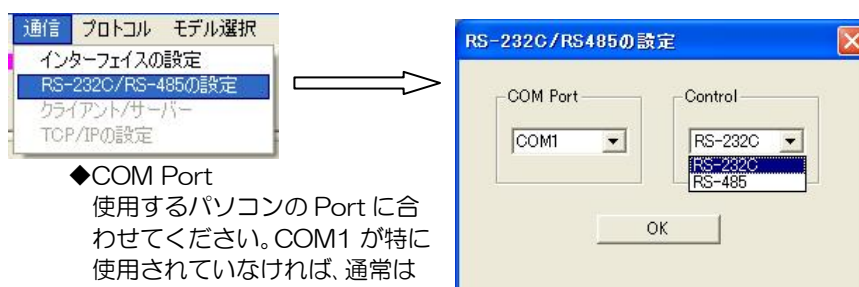
●名前を付けて保存
設定内容を任意の名前を付けて保存します。拡張子は"dat"です。

●アプリケーションの終了
専用ソフト(アプリケーション)を終了します。

■モデル選択
専用ソフトは別機種の MSW-3232A と共通です。
本機では MSW-6432A を選択してください。

専用ソフトの準備

■通信の設定

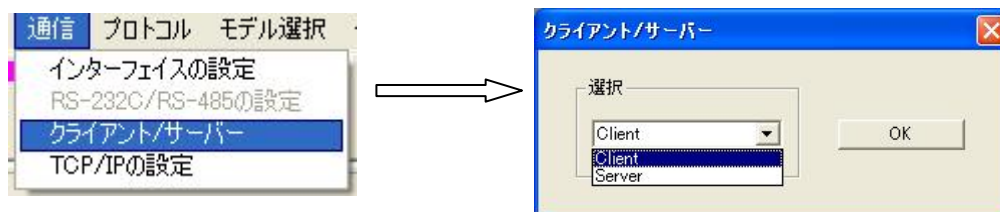
専用ソフトと MSW-6432A で送受信するとき、システムの種類によってこの設定を変更する必要があります。
(7 ページ **システムの種類** 参照)

メニューバーの“通信”のプルダウンリストより“インターフェイスの設定”をクリックすると、“インターフェイスの設定”ダイアログが表示されます。

専用ソフトの準備

●インターフェイスの設定
通信方式をRS-232C/RS-485またはTCP/IPから選択します。

●RS-232C/RS-485の設定
通信方式をRS-232CまたはRS-485から選択します。

◆COM Port
使用するパソコンのPortに合わせてください。COM1が特に使用されていなければ、通常はCOM1を使用してください。

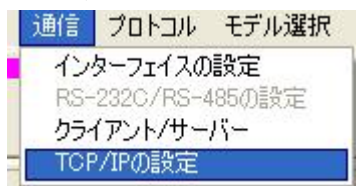
◆Control
RS-232CまたはRS-485を選択してください。

※RS-232Cを選択したときは、各設定項目の“スレーブアドレス”が無効になります。
※RS-485を選択したときは、各設定項目の“スレーブアドレス”が有効になりますので、設定および操作する号機をリストより選択してから設定してください。
“スレーブアドレス”に“Broadcast”を選択して設定すると各号機に一斉送信となります。

注意 ●カスケード接続内に本機以外の機器があるときは一斉送信はできません。
●一斉送信時はアンサーバックはありません。

●クライアント/サーバー
通信方式をTCP/IPとしたとき、専用ソフトをクライアントまたはサーバーから選択して設定します。

値	動 作	備 考
Client	クライアントとして使用	サーバー(MSW-6432A本体)に対しソケット接続が確立するまで要求を続ける
Server	サーバーとして使用	クライアント(MSW-6432A本体)からのソケット接続要求をリスン状態で待機する

専用ソフトの準備

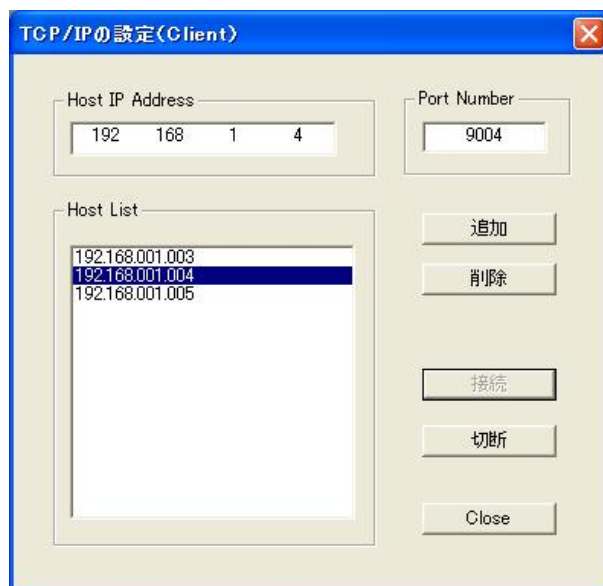
●TCP/IP の設定
通信方式を TCP/IP としたとき、通信先のアドレスなどを設定します。
クライアント/サーバーの設定により設定ダイアログが異なります。

◆TCP/IP の設定(Client)

①接続したい MSW-6432A のメニューで設定したポート番号を"Port Number"に入力します。

②各 MSW-6432A の IP アドレスを"Host IP Address"に入力して"追加"をクリックすると、"Host List"に表示されます。

③"Host List"から接続したい MSW-6432A の IP アドレスをダブルクリックすると"Host IP Address"に表示されますので、"接続"ボタンをクリックして接続してください。

④"Close"ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をします。専用ソフトを終了するときは、このダイアログを再び表示させて"切断"をクリックしてから終了してください。

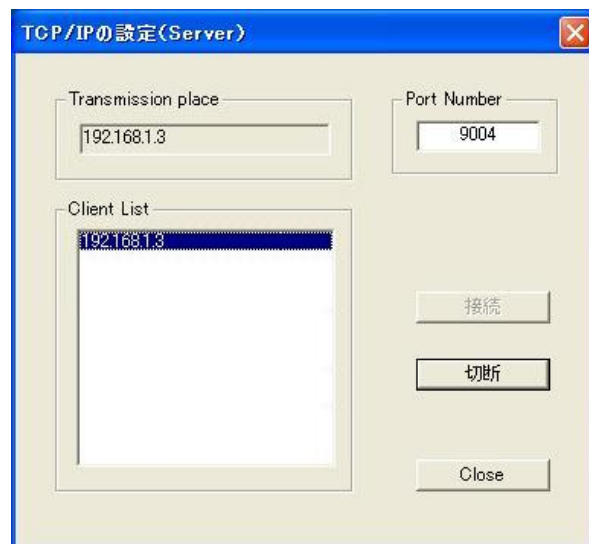
※他の MSW-6432A と接続する場合は、"切断"をクリックしてから③の設定をしてください。

◆TCP/IP の設定(Server)

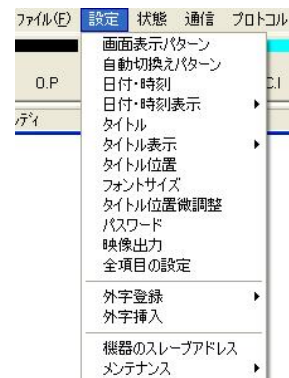
①接続したい MSW-6432A のメニューで設定したポート番号を"Port No."に入力します。

②"接続"ボタンをクリックしてリスン状態で待つと、"Client List"に各 MSW-6432A の IP アドレスが表示されます。

③接続したいアドレスをダブルクリックすると"Transmission Place"に表示され決定します。

④"Close"ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をします。専用ソフトを終了するときは、このダイアログを再び表示させて"切断"をクリックしてから終了してください。

※他の MSW-6432A と接続する場合は、"切断"をクリックしてから③の設定をしてください。

■設定

13 種類のボタンと、メニューバー“設定”のプルダウンリストの項目は同じものです。

1.画面表示パターン(O.P)

“パターンナンバー”の値は用途によって使い分けます。

	値	用途
1-1.FREE	FREE	出力:入力を随時設定して、即、画面に表示させたいとき 前面部ボタンで出力：入力を割り当てるのと同じ操作をしたいとき
1-2.プリセット	OP01～OP64	出力:入力をアウトプット パターンとしてプリセットしておきたいとき プリセットしたパターンを画面に表示させたいとき

1-1.FREE

① “パターンナンバー”を“FREE”にして“**画面切換え**”ボタンをクリックして、本体をFREE モードに設定します。

② “出力チャンネル”で ch.01～32 を選択し“表示画面”IN01～64 または SP01～64 を割り当てます。
“同表示画面”は映像出力 01～32 をすべて同じ表示にします。

値	出力状態
IN01～IN64	カメラ映像入力 01～64 の固定出力
SP01～SP64	プリセットされた自動切換えパターン 01～64 の出力 (次ページ **2.自動切換えパターン(S.P)** 参照)

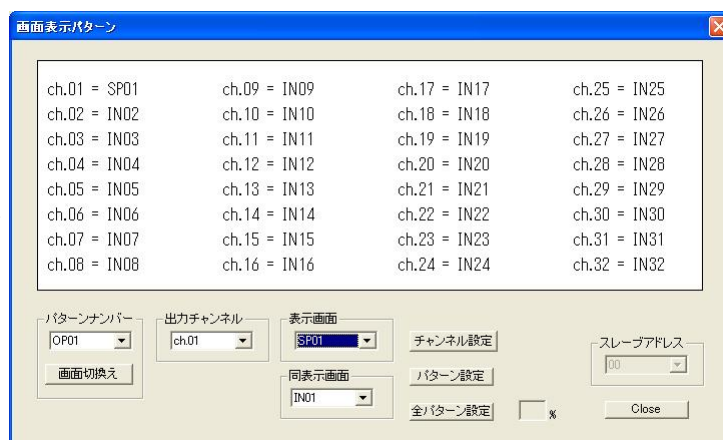
③“**チャンネル設定**”ボタンをクリックすると、選択中の出力チャンネルの設定のみが送信され画面が切換わります。
“**パターン設定**”ボタンをクリックすると、全出力チャンネルの設定が送信され各画面が切換わります。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

1-2.プリセット

アウトプットパターン 01～64 を作成します。

① “パターンナンバー”に OP01～64 の作成したいパターン番号を設定します。

② “出力チャンネル”で ch.01～32 を選択し“表示画面”IN01～32 または SP01～64 を割り当てます。
“同表示画面”は映像出力 01～32 をすべて同じ表示にします。

値	出力状態
IN01～IN32	カメラ映像入力 01～32 の固定出力
SP01～SP64	プリセットされた自動切換えパターン 01～64 の出力 (次ページ **2.自動切換えパターン(S.P)** 参照)

③ “**チャンネル設定**”ボタンをクリックすると、選択中の出力チャンネルの設定のみが送信されます。
“**パターン設定**”ボタンをクリックすると、選択中のパターンの設定のみが送信されます。
“**全パターン設定**”ボタンをクリックすると、01～64 全パターンの設定が送信されます。
“**画面切換え**”ボタンをクリックすると、選択中のパターンの設定が送信され画面が切換わります。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

2.自動切換えパターン(S.P)

自動切換えパターンをプリセットします。

① “パターンナンバー” に SP01～64 の作成したいパターン番号を設定します。

②“入力チャンネル”ch.01～64 を選択して“時間(秒)” 00～99(秒)を設定します。
00(秒)はカメラ映像入力をスキップします。
※ “**同時間(秒)**” に時間を選択すると入力チャンネル 01～64 をすべて同じ時間にします。

③ “**チャンネル設定**” ボタンをクリックすると、選択中の入力チャンネルの時間が本体に送信されます。
“**パターン設定**” ボタンをクリックすると、選択中のパターンの時間が本体に送信されます。
“**全パターン設定**” ボタンをクリックすると、01～64 全パターンの時間が本体に送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

3.日付・時刻(C.S)

画面に表示する日時を設定します。

●日時の調整

年月日時分秒それぞれ数値を選択して、それぞれに対する “**設定**” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

●表示範囲

日時の表示範囲を設定します。
※全カメラ映像入力および全映像出力に共通の設定です。

値	表示例
年～秒	２０１４．０７．２４　１４：５５：３６
年～分	２０１４．０７．２４　１４：５５
年～日	２０１４．０７．２４
月～秒	０７．２４　１４：５５：３６
月～分	０７．２４　１４：５５
月～日	０７．２４
時～秒	１４：５５：３６
時～分	１４：５５

“**設定**” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

●表示サイズ

日時の表示サイズを設定します。
※全カメラ映像入力および全映像出力に共通の設定です。

値	動作
ノーマル	標準文字サイズ
スモール	小さい文字サイズ

“**設定**” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

●30 秒補正

時刻の 30 秒補正をします。
“**設定**” ボタンをクリックすると、画面の秒の値が 00 になります。
秒の値が 30～59 のときは、1 分進んで 00 秒になります。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

4.日付･時刻表示(入力側) (C.I)

カメラ映像入力 1～64 へ日付･時刻の表示/非表示をそれぞれ設定します。

①“入力チャンネル”ch.01～64 を選択し、それぞれ“表示”で表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	日時を表示する
OFF	日時を表示しない

※“同表示”は入力チャンネル 01～64 をすべて同じ表示にします。

②“**設定**”ボタンをクリックすると、選択中の入力チャンネルの設定のみが送信されます。
“**全設定**”ボタンをクリックすると、全入力チャンネルの設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

> 注意　●入力チャンネルが ON になっていても、それを表示する映像出力が OFF になっていると、日付･時刻は表示されません。(**5.日付･時刻表示(出力側) (C.O)** 参照)

5.日付･時刻表示(出力側) (C.O)

映像出力 1～32 への日付･時刻の表示/非表示をそれぞれ設定します。

①“出力チャンネル”ch.01～32 を選択し、それぞれ“表示”で ON/OFF を設定します。

値	動作
ON	日時を表示する
OFF	日時を表示しない

※“同表示”は出力チャンネル 01～32 をすべて同じ表示にします。

②“**設定**”ボタンをクリックすると、選択中の出力チャンネルの設定のみが送信されます。
“**全設定**”ボタンをクリックすると、全出力チャンネルの設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

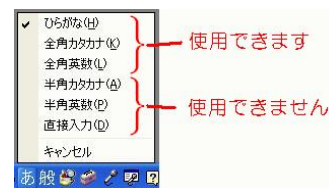
> 注意　●出力チャンネルが ON になっていても、表示されているカメラ映像入力が OFF になっていると、日付･時刻は表示されません。(**4.日付･時刻表示(入力側) (C.I)** 参照)

6.タイトル(T.S)

タイトルを入力します。

①“入力チャンネル”ch.01～64 を選択し、それぞれ“タイトル”の入力エリアに入力します。

※最大 28 文字まで入力できます。
※JIS 第一,第二水準＋拡張文字の 7,324 文字を使用できます。

注意 ●半角英数および半角カタカナは使用できません。
●スペースも全角を使用してください。
●フォント サイズにより画面に表示できる文字数が変わります。
(次ページ **10.フォントサイズ(F.S)** 参照)

②“**設定**”ボタンをクリックすると、選択中の入力チャンネルの設定が本体に送信されます。
“**全設定**”ボタンをクリックすると、01～64 全入力チャンネルの設定が本体に送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。
※タイトルの入力は専用ソフトのみ可能です。本体メニューでは入力できません。

注意 ●全設定で転送するときは、空欄の入力チャンネルがあると、その空欄も転送･上書きされてしまうのでご注意ください。

7.タイトル表示(入力側)(T.I)

カメラ映像入力 1～64 へタイトルの表示/非表示をそれぞれ設定します。

①“入力チャンネル”ch.01～64 を選択し、それぞれ“表示”で ON/OFF を設定します。

値	動作
ON	タイトルを表示する
OFF	タイトルを表示しない

※“同表示”は入力チャンネル 01～64 をすべて同じ表示にします。

②“**設定**”ボタンをクリックすると、選択中の入力チャンネルの設定のみが送信されます。
“**全設定**”ボタンをクリックすると、全入力チャンネルの設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

注意 ●入力チャンネルが ON になっていても、それを表示する映像出力が OFF になっていると、タイトルは表示されません。(次ページ **8.タイトル表示(出力側)(T.O)** 参照)

8.タイトル表示(出力側)(T.O)

映像出力 1～32 へタイトルの表示/非表示をそれぞれ設定します。

①“出力チャンネル”ch.01～32 を選択し、それぞれ“表示”で ON/OFF を設定します。

値	動作
ON	タイトルを表示する
OFF	タイトルを表示しない

※“同表示”は出力チャンネル 01～32 をすべて同じ表示にします。

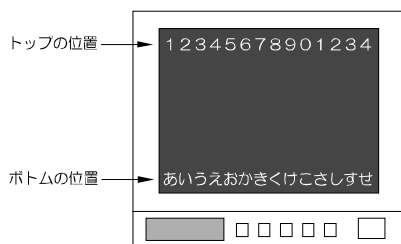
②“**設定**”ボタンをクリックすると、選択中の出力チャンネルの設定のみが送信されます。
“**全設定**”ボタンをクリックすると、全出力チャンネルの設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

注意　●出力チャンネルが ON になっていても、表示されているカメラ映像入力が OFF になっていると、タイトルは表示されません。(前ページ **7.タイトル表示(入力側)(T.I)** 参照)

9.タイトル位置(T.P)

タイトルの表示位置をそれぞれ設定します。

①“入力チャンネル”ch.01～64 を選択し、それぞれ“表示位置”でタイトル位置を設定します。

値	動作
BOTTOM	画面下部に表示する
TOP	画面上部に表示する

※“同表示位置”は入力チャンネル 01～64 をすべて同じ位置にします。
※日時はタイトルの反対側に表示します。

②“**設定**”ボタンをクリックすると、選択中の入力チャンネルの設定のみが送信されます。
“**全設定**”ボタンをクリックすると、全入力チャンネルの設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

10.フォントサイズ(F.S)

タイトルの表示文字サイズを設定します。

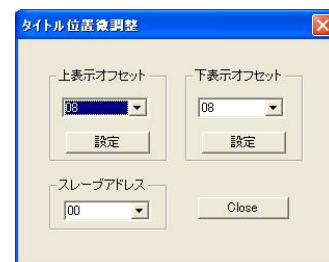
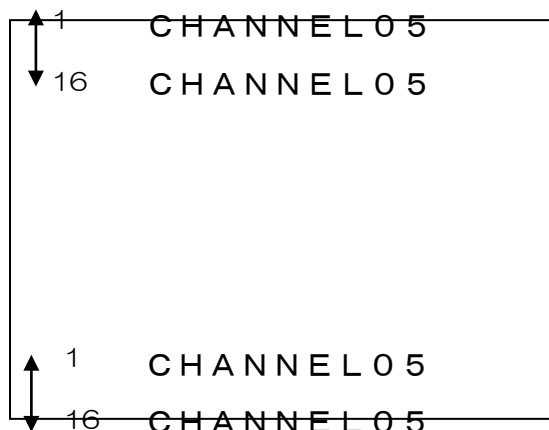
①“入力チャンネル”ch.01～64 を選択し、それぞれ“表示サイズ”でフォントサイズを設定します。

値	サイズ	表示文字数
LARGE	46×46	14 文字
MEDIUM	30×30	21 文字
SMALL	22×22	28 文字

※“同表示サイズ”は入力チャンネル 01～64 をすべて同じサイズにします。

②“**設定**”ボタンをクリックすると、選択中の入力チャンネルの設定のみが送信されます。
“**全設定**”ボタンをクリックすると、全入力チャンネルの設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

11.タイトル位置微調整(T.A)
タイトルの表示位置を TOP/BOTTOM それぞれ微調整します。
※全カメラ映像入力および全映像出力に共通の設定です。

それぞれ数値を選択して、それぞれに対する“**設定**”ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

12.パスワード(P.S)
前面部ボタンでの割り当て操作と MENU ボタン操作のロック ON/OFF およびパスワード番号を設定します。
※操作中のパスワードの入力方法は、
25 ページ ■**パスワードによるロック**をご参照ください。

●ナンバー
パスワード番号を設定します。
6 ケタの数字で、000000～999999 の範囲で設定できます。
値を入力して“**設定**”ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

●ボタン操作時
前面部ボタンの操作をパスワードによりロックします。

値	動作
ON	操作にパスワードの入力が必要
OFF	操作にパスワードは不要

値を選択して、“**設定**”ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

●メニュー操作時
MENU ボタンの操作をパスワードによりロックします。

値	動作
ON	操作にパスワードの入力が必要
OFF	操作にパスワードは不要

値を選択して、“**設定**”ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

13.映像出力(O.E)
映像出力 2～32 の映像出力の有効/無効を設定します。
※映像出力 1 は常に有効です。

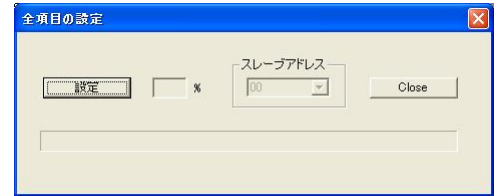
① “出力チャンネル” ch.01～32 を選択し、それぞれ “映像出力” で ON/OFF を設定します。

値	動作
ON	出力を有効に設定する
OFF	出力を無効に設定する

※ “同映像出力” は出力チャンネル 01～32 をすべて同じ設定にします。

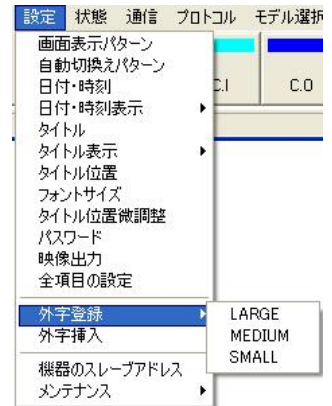
② “**設定**” ボタンをクリックすると、選択中の出力チャンネルの設定のみが送信されます。
“**全設定**” ボタンをクリックすると、全出力チャンネルの設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

14.全項目の設定

設定ボタンをクリックすると、各設定内容を一括で送信します。
送信には時間がかかります。

15.外字登録

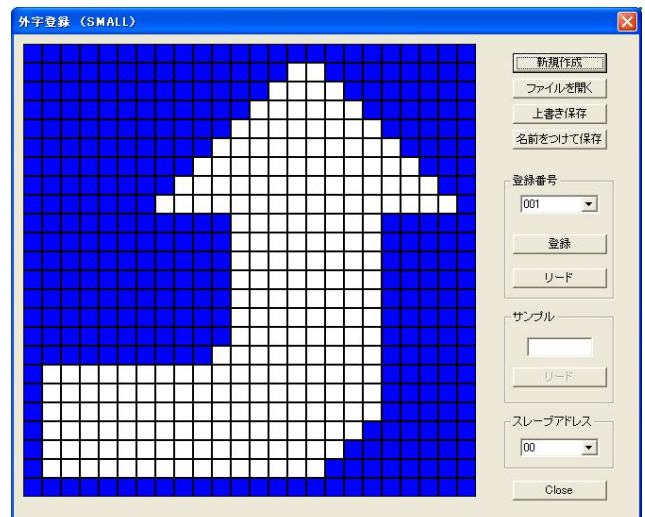
JIS 第一,第二水準＋拡張文字の7,324 文字以外の文字を作成して登録することができます。
フォント サイズごとに下表のとおり作成･登録することができます。

	ドット	登録番号	挿入位置
外字登録(LARGE)	46×46	001～070	01～14
外字登録(MEDIUM)	30×30	001～160	01～21
外字登録(SMALL)	22×22	001～256	01～28

注意 ●外字登録は専用ソフトのみ可能で、メニューではできません。

●外字の作成,登録の手順

①登録番号を選択します。

②青いエリアに外字を描きます。
マウスを左クリックすると白塗りし、右クリックすると塗りを消去します。
1 列の線はモニターに表示されにくいので、できるだけ 3 列以上の塗りで線を描くようにしてください。
一番外側の枠は塗ることはできません。

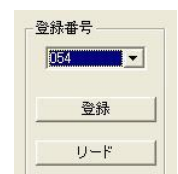
③“登録”ボタンをクリックすると外字が本体に転送･保存されます。
LARGE/MEDIUM/SMALL と登録番号と外字の組み合わせを記録しておくことをお勧めします。
パソコンに保存した外字のファイルをまた開いて編集する場合は、②のときに“開く”でファイルを開いて編集し、“保存”で同じファイルに上書き保存します。
同じ登録番号で登録すると後から登録した外字が上書きされます。

④作成した外字をパソコンにファイルで保存する場合は、“名前を付けて保存”をクリックし、任意の場所に名前を付けて保存してください。外字のフォントサイズによってファイルの拡張子は変わります。(右図)

外字のフォントサイズ	拡張子
LARGE	txl
MEDIUM	txm
SMALL	txs

⑤別の登録番号と外字を登録する場合は、①～③を繰り返してください。

●サンプル,リードの使用方法

マウスで直接描く前に、既存の文字を青いエリアに取り込んでから、その文字を編集できます。

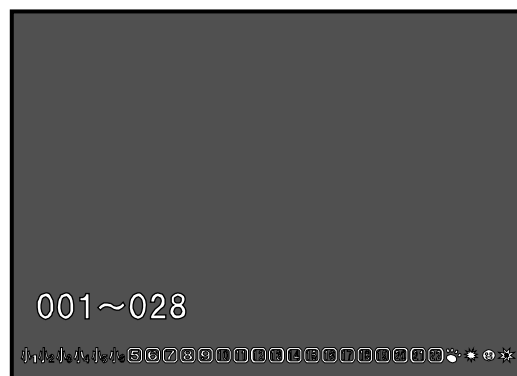
◎既登録外字の読み込み
“登録番号”欄の番号を選択してすぐ下の“リード”ボタンをクリックすると青いエリアに既に登録されている外字が表示されます。

◎標準文字読み込み
“サンプル”欄に全角文字(漢字･英数字･記号)を入力して、すぐ下の“リード”ボタンをクリックすると青いエリアにその文字が表示されます。

●登録した外字の確認方法

映像出力１のみ確認画面が表示されます。映像出力１のモニタを見ながら ENTER ボタンを 10 回連続して押します。

画面の下行または上行に LARGE/MEDIUM/SMALL それぞれの登録した外字が表示されます。

※確認したい外字のサイズを映像出力１に表示させておいてください。“**フォント サイズ**”で LARGE/MEDIUM/SMALL を設定しておいてください。

登録した外字は登録番号ごとに表示されます。
⇦,⇨ボタンで登録番号を切換えます。
確認画面を解除するときは ENTER ボタンを 10 回連続して押します。

登録番号 001～028 に登録した外字の表示例
映像出力１がフォント サイズ：SMALL,
タイトル位置：BOTTOM に設定されている場合

16.外字挿入

登録した外字を挿入します。
(43 ページ **15.外字登録** 参照)
外字を挿入したいページを画面に表示させておくと確認しやすくなります。

注意 ●外字挿入は専用ソフトのみ可能で、メニューではできません。

フォント サイズ(小/中/大)ごとに下表のとおり挿入することができます。

	ドット	登録番号	挿入位置
外字登録(LARGE)	46×46	001～070	01～14
外字登録(MEDIUM)	30×30	001～160	01～21
外字登録(SMALL)	22×22	001～256	01～28

①“入力チャンネル”に外字挿入するチャンネル 01～64 を選択します。

②“フォントサイズ”LARGE/MEDIUM/SMALL を選択します。

③“外字登録番号”を選択します。

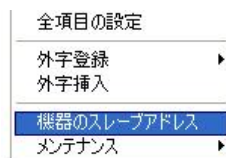
④“挿入位置”を選択します。挿入位置は、画面の左側から順に 01,02,03…です。

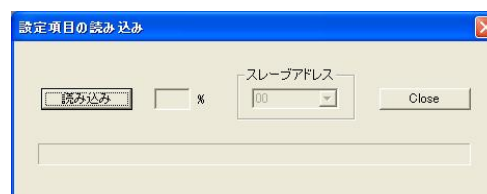
⑤設定ボタンをクリックします。

17.機器のスレーブ アドレス

インターフェイスで RS-485 の使用を設定したときのみ有効になります。
(35 ページ **●RS-232C/RS-485 の設定** 参照)

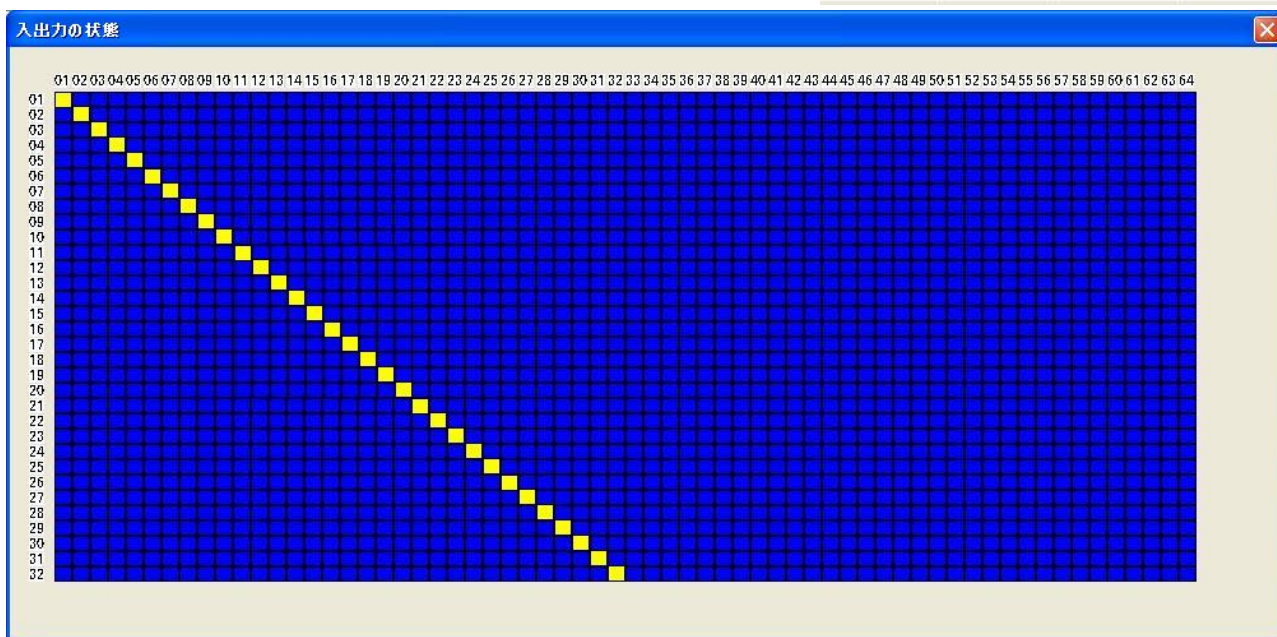
接続したい MSW-6432A の号機(00～31,Broadcast)を一括で指定することにより、各設定画面の“スレーブアドレス”の項目にあらかじめ号機(00～31,Broadcast)が入力された状態になります。

注意 ●Broadcast 設定時は、入出力の状態は表示できません。
●RS-232C と RS-485 を同時に使用することはできません。

18.メンテナンス(設定項目の読み込み)

読み込みボタンをクリックすると、MSW-6432A 本体の設定内容を専用ソフトに読み込みます。
読み込みには時間がかかります。

専用ソフトの操作方法

■入出力の状態
カメラ映像入力 1～64 と映像出力 1～32 の割り当てを確認できます。

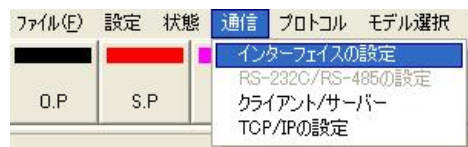
注意 ●RS-485 使用時は、確認したい号機とあらかじめ接続してください。
(前ページ **17.機器のスレーブ アドレス** 参照)
●イーサネットで接続された MSW-6432A の IP アドレスを指定して入出力の状態を確認する場合は、
メニューバー“インターフェイス”の“TCP/IP の設定”で通信先の IP アドレスと接続してください。
(34 ページ **■通信の設定** 参照)

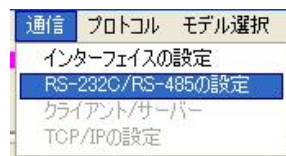
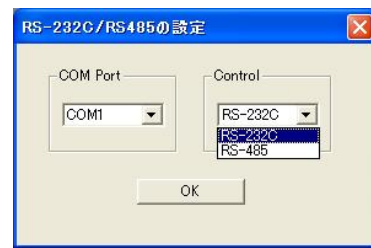
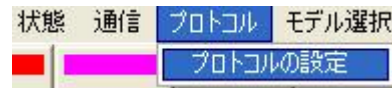
メニューバーの“状態”をクリックし、さらに“入出力の状態”をクリックすると“入出力の状態”が表示されます。

タテ軸が映像出力 1～32、ヨコ軸がカメラ映像入力 1～64 です。点灯しているところが現在の割り当て状態です。
黄色が横に移動しているときは、その出力が自動切換え(オート シーケンス)表示している場合です。

注意 ●エラー メッセージが表示される場合は、OK ボタンをクリックすると“入出力の状態”が閉じます。
ソフトから本体にコマンド信号を送り、返されるアンサーにより入出力の状態画面を表示していますので、次の点をお確かめください。
・本体の電源が ON になっているか
・正しく接続されているか

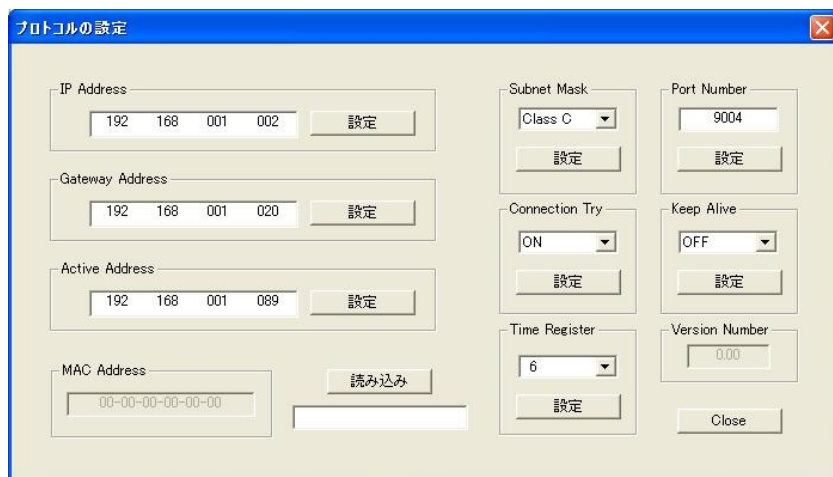
■プロトコル

MSW-6432A 本体をイーサネット経由で使用する場合の IP アドレス等の設定です。メニューの ETHERNET を専用ソフトで設定する方法です。(31～32 ページ 9.ETHERNET 参照)
プロトコルの設定時は専用ソフトのパソコンと MSW-6432A 本体を RS-232C 経由で接続してください。
RS-232C/RS-485 通信をする場合は、この設定は必要ありません。

①メニューバー“通信”のプルダウン リストから
“インターフェイスの設定”を選択してクリックします。

②インターフェイスの設定ダイアログで“RS-232C/RS-485”を選択して、OK ボタンをクリックします。

③メニューバー“通信”のプルダウン リストから“RS-232C/RS-485 の設定”を選択してクリックします。

④RS-232C/RS-485 の設定ダイアログで“Control”に“RS-232C”を選択して OK ボタンをクリックします。（“COM Port”は必要に応じて変更してください。）

⑤メニューバーの“プロトコル”をクリックし、さらに“プロトコルの設定”をクリックすると、“プロトコルの設定”ダイアログが表示されます。

⑥“IP Address”に MSW-6432A 本体のローカル(プライベート)IP アドレスを入力し設定ボタンをクリックします。

⑤“Gateway Address”に MSW-6432A 本体のデフォルトゲートウェイを入力し設定ボタンをクリックします。

●LAN で使用する場合には、その LAN で共通のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。
●インターネットを経由して MSW-6432A 本体をクライアントとして使用する場合には、属する LAN のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。
●インターネットを経由して MSW-6432A 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

専用ソフトの操作方法

⑥“Active Address”に通信先のアドレスを入力し設定ボタンをクリックします。

●LAN で使用する場合には、通信先のローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。
●インターネットを経由してMSW-6432A 本体をクライアントとして使用する場合には、通信先の IP アドレスを設定します。
●インターネットを経由してMSW-6432A 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

⑦“Subnet Mask”にサブネット マスクを選択し設定ボタンをクリックします。
ほとんどの場合、工場出荷時の“Class C”のままご使用いただけます。

⑧“Port Number”に、MSW-6432A 本体各機と専用ソフト用のパソコンに共通のポート番号を任意で決めて入力し設定ボタンをクリックします。

⑨“Connection Try”は、MSW-6432A 本体のクライアント/サーバーを選択し設定ボタンをクリックします。

値	設定	備考
ON	クライアントとして使用	サーバーに対しソケット接続が確立するまで要求を続ける
OFF	サーバーとして使用	クライアントからのソケット接続要求をリスン状態で待機する

⑩“Keep Alive”は通信障害を回避するため、接続を時間ごとに知らせる機能の有効/無効を設定します。

値	動 作
ON	有効(推奨)
OFF	無効

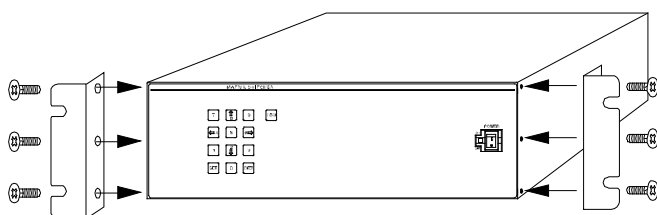
※通信障害は、電源断,ケーブル外れ,ソケットのハーフ コネクション等によるものです。

⑪“Time Register”は“Keep Alive”が ON のとき、接続を知らせる時間を設定します。

値	時 間
1	1(分)
2	2(分)
3	5(分)
4	10(分)
5	20(分)
6	50(分)

⑫**読み込み**ボタンは、本機の“MAC Address”と“Version Number”を確認したい場合にクリックします。
“MAC Address”は本体底面に貼付の MAC アドレス ラベルと一致します。
“Version Number”は本体に組み込まれたファームウェアのバージョンです。機器メンテナンスのときに確認する場合があります。

ラック マウント方法

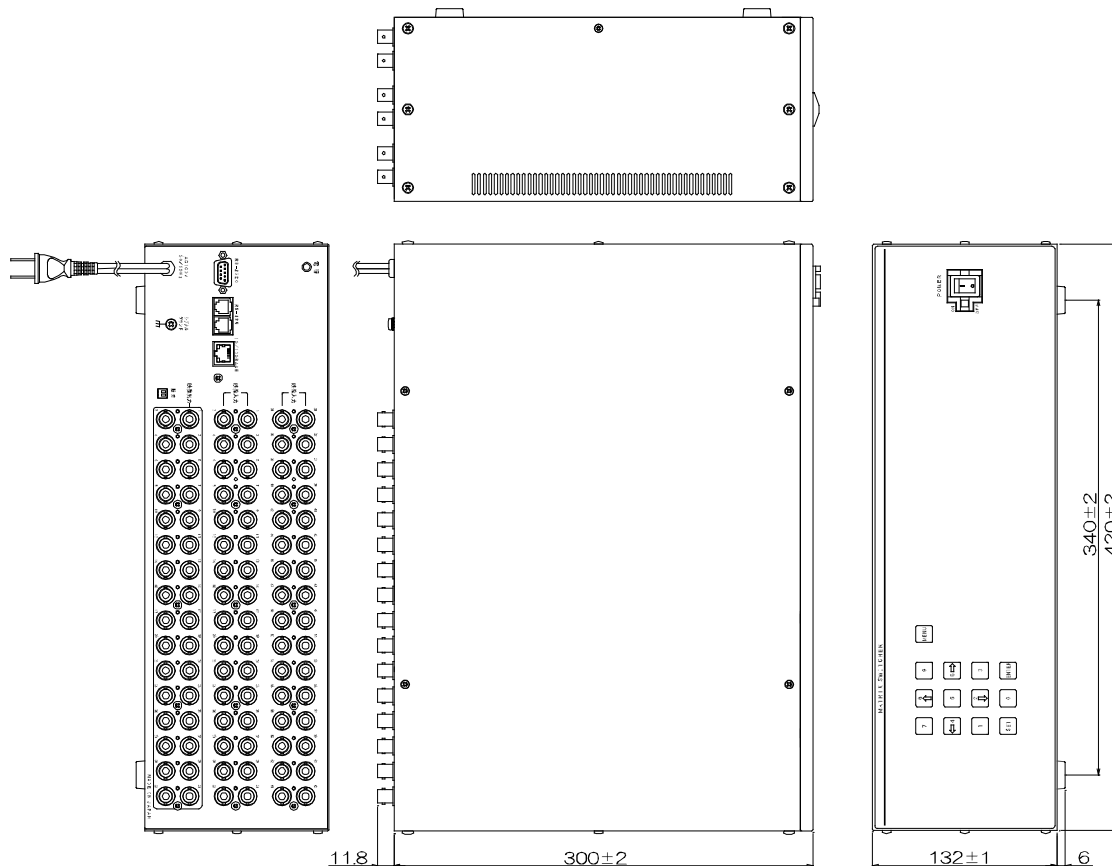
19 インチ ラック(JIS/EIA)への本体の据え付け方法です。
ラック マウント金具につきましては、次ページの**製品仕様 ■別売品** をご参照ください。

注意 ●機器の放熱効果を妨げないために、通風孔(側面,底面)をふさがないように設置してください。
●周囲温度 0～40℃の環境で使用するため、他の機器とのすき間を十分確保するように据え付けてください。

製品仕様

■映像入力方式　NTSC 方式準拠
■カメラ映像入力　VBS,VS　1.0Vp-p　75Ω終端　不平衡　64 系統　BNC 端子
■モニター映像出力　VBS,VS　1.0Vp-p　75Ω終端　不平衡　32 系統　BNC 端子
■RS-232C コネクター　D-Sub9 ピン(オス)　1 系統　(RXD,TXD,COMMON)　RS-232C 信号規格準拠
■RS-485 コネクター　入出力各 1 系統　6 極 4 芯モジュラー ジャック(RJ11)
RS-485 信号規格準拠(Half Duplex)
■イーサネット　RJ45(TCP/IP)　1 系統
■入出力の状態表示　入力と出力の対応を表示する　専用ソフトのみ
■メニュー表示　映像出力 1 のみ表示
■自動切換え　各映像出力(1～32)に設定可　切換え時間は 0～99 秒に可変
■タイトル挿入　最長 28 文字まで　縁どりあり
JIS 第一,第二水準＋拡張文字の 7,324 文字入力可(JIS X0208-1990)
専用ソフトのみ
■タイトル位置　画面下部/上部　位置微調整可
■日時表示　年.月.日　時:分:秒　画面中央上部/下部(タイトルの反対側)
■パスワード　前面部ボタン操作･メニュー操作に対してパスワードでロックする機能
■使用温湿度　0～40℃　10～90%RH(但し、結露無きこと)
■電源電圧　AC100V±10%　50/60Hz
■消費電力　約 22W
■外形寸法　420(W)×300(D)×132(H) (mm)(但し、ゴム足,突起部除く)
■AC 入力ケーブル長　約 1.7(m)
■質量　約 6.0kg
■付属品　取扱説明書(保証書含む)…1 部
■別売品　・ラック マウント金具
販売店までお問い合わせください

キット型番	ラック規格	構成
RMI-J3-421	JIS	小金具×2
RMI-E3-421	EIA	小金具×2

・リモート コントローラー
・RS-232C/RS-485 変換機

■外観図

※D-Sub 端子はインチネジ#4-40UNC を使用しています。
※仕様および外観は、改良その他の理由により、予告なく変更する場合がございます。
※本機は日本国内のみの使用に基づいて設計・製造されています。

故障かなと思う前に…

症　状	確　認　事　項
映像が出ない	●電源ケーブルがコンセントからはずれていませんか ●電源スイッチは ON になっていますか ●TV カメラからの映像信号は入力されていますか ●モニターに映像出力が正しく接続されていますか
映像にノイズが出る	●TV カメラの同軸ケーブルは正しく接続されていますか ●TV カメラの同軸ケーブルの近くに電源線がありませんか

修理を依頼されるときは

●本機が正常に動作しないときは、次の操作をおこなってください。それでもなお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

・デフォルト セットして各設定値を工場出荷時設定に戻し、動作をご確認ください。
・「安全上のご注意」「故障かなと思う前に…」をもう一度ご覧いただき、環境･動作をご確認ください。

●修理をお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名 ： マトリックス スイッチャ　MSW-6432A
症状 ： 設置状態を含めできるだけ詳細にお知らせください。

品質保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、ご使用中に発生した故障については、お買い上げの日より 1 年間、無償にて修理させていただきます。

※保証期間内であっても、下記の場合有償となる場合がございます。

①お買い上げの年月日、および販売店について証明となるものをご提示いただけない場合。
②ご使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障および損傷。
③お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
④火災、地震、水害、落雷、その他天変地異のほか、公害、塩害、異常電圧などが原因となって発生した故障および損傷。
⑤故障の原因が本機以外にあり、本機に改善を要する場合。
⑥付属品などの消耗品による交換。

おことわり

本機は、その特徴上、犯罪や災害等の監視のためにご使用されるケースが考えられますが、決して犯罪や災害の抑制および防止器ではありません。
また、本機のご使用方法の誤り、不当な修理や改造のほか、誘導雷サージを含む天災などの被害により発生した事故や、人身事故および災害･盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

必要なシステム構成

専用ソフトを動作させるために、お使いのパソコンは次の環境を有している必要があります。
●Microsoft® Windows XP 日本語版,Windows Vista 日本語版,Windows 7 日本語版
●400KB 以上の空き容量のあるハードディスク
●Ethernet ポートまたは RS-232C ポート(シリアル ポート)
●Microsoft® IME 日本語入力システム

保　証　書

<table>
<tr><td colspan="2">品名：MSW-6432A</td><td colspan="2">本体裏シールの SER.No.（製造番号）をご記入ください

Ｎｏ.</td></tr>
<tr><td colspan="3">お客様名：
様
ご住所　〒

TEL：</td><td>取扱販売店名・住所・電話番号</td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td colspan="3">お買い上げ日
年　月　日より　1 年間</td></tr>
</table>

Artics

株式会社 アルテックス

住　所　神奈川県相模原市南区麻溝台 8-22-1

営業部ダイヤルイン　042(742)2110

F　A　X　042(742)3631

E-MAIL　info@n-artics.co.jp

U　R　L　http://www.n-artics.co.jp

発行：2014.11.18